2024年の
米日ハイテクグロース株投資
ー半導体とAIが織り成す未来ー

2024年1月23日

楽天証券経済研究所
チーフアナリスト　今中 能夫

Rakuten 楽天証券

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なることがございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

国内株式のリスクと費用について

■国内株式 国内ETF／ETN 上場新株予約権証券（ライツ）

【株式等のお取引にかかるリスク】

株式等は株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等、ライツは転換後の価格や評価額の変動等により、損失が生じるおそれがあります。※ライツは上場および行使期間に定めがあり、当該期間内に行使しない場合には、投資金額を全額失うことがあります。

●レバレッジ型、インバース型ＥＴＦ及びＥＴＮのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の期間の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。

・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。

・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が＋（プラス）１を超えるものを「レバレッジ型」といい、－（マイナス）のもの（マイナス１倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【信用取引にかかるリスク】

信用取引は取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

【株式等のお取引にかかる費用】

国内株式の委託手数料は「ゼロコース」「超割コース」「いちにち定額コース」の3コースから選択することができます。

国内株式のリスクと費用について

〔ゼロコース（現物取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

但し、原則として当社が指定するSOR（スマート・オーダー・ルーティング（※1））注文 のご利用が必須となります。

（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）

ゼロコースをご利用される場合には、当社のSORやRクロス（※2）の内容を十分ご理解のうえでその利用に同意いただく必要があります。

※1 SORとは、複数市場から指定条件に従って最良の市場を選択し、注文を執行する形態の注文です。

※2 「Rクロス」は、楽天証券が提供する社内取引システム（ダークプール（※3））です。

※3 ダークプールとは、証券会社が投資家同士の売買注文を付け合わせ、対当する注文があれば金融商品取引所の立会外市場(ToSTNeT)に発注を行い約定させるシステムをいいます。

〔ゼロコース（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

但し、原則として当社が指定するSORのご利用が必須となります。（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）

国内株式のリスクと費用について

〔超割コース（現物取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
5万円まで	50円（55円）
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	105円（115円）
50万円まで	250円（275円）
100万円まで	487円（535円）
150万円まで	582円（640円）
3,000万円まで	921円（1,013円）
3,000万円超	973円（1,070円）

※（）内は税込金額

〔超割コース（信用取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	135円（148円）
50万円まで	180円（198円）
50万円超	350円（385円）

※（）内は税込金額

超割コース大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

〔超割コース　大口優遇（現物取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

〔超割コース　大口優遇（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

国内株式のリスクと費用について

〔いちにち定額コース〕

1日の取引金額合計（現物取引と信用取引合計）で手数料が決まります。

1日の取引金額合計	取引手数料
100万円まで	0円
200万円まで	2,000円（2,200円）
300万円まで 以降、100万円増えるごとに1,100円追加。	3,000円（3,300円）

※（）内は税込金額

※1日の取引金額合計は、前営業日の夜間取引と当日の日中取引を合算して計算いたします。
※一般信用取引における返済期日が当日の「いちにち信用取引」、および当社が別途指定する銘柄の手数料は0円です。これらのお取引は、いちにち定額コースの取引金額合計に含まれません。

〔かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）にかかるリスクおよび費用〕

リスクについて

かぶミニ®の取扱い銘柄については市場環境等により、取扱いを停止する場合があります。

費用について

売買手数料は無料です。

かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）は、当社が自己で直接の相手方となり市場外で売買を成立させます。そのため、取引価格は買付時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を上乗せした価格、売却時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を差し引いた価格となります（1円未満の端数がある場合、買付時は整数値に切り上げ、売却時は切り捨て）。なお、適用されるスプレッドは当社ウェブサイトにて開示していますが、相場環境の急変等により変動する場合があります。

●カスタマーサービスセンターのオペレーターの取次ぎによる電話注文は、上記いずれのコースかに関わらず、1回のお取引ごとにオペレーター取次ぎによる手数料（最大で4,950円（税込））を頂戴いたします。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
●信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
●信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は30万円、委託保証金率は30%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が20%です。委託保証金の保証金率が20%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。
レバレッジ型ＥＴＦ等の一部の銘柄の場合や市場区分、市場の状況等により、30%を上回る委託保証金が必要な場合がありますので、ご注意ください。

国内株式のリスクと費用について

【貸株サービス・信用貸株にかかるリスクおよび費用】

（貸株サービスのみ）

●リスクについて

貸株サービスの利用に当社とお客様が締結する契約は「消費貸借契約」となります。株券等を貸付いただくにあたり、楽天証券よりお客様へ担保の提供はなされません（無担保取引）。（信用貸株のみ）

●株券等の貸出設定について

信用貸株において、お客様が代用有価証券として当社に差入れている株券等（但し、当社が信用貸株の対象としていない銘柄は除く）のうち、一部の銘柄に限定して貸出すことができますが、各銘柄につき一部の数量のみに限定することはできませんので、ご注意ください。

（貸株サービス・信用貸株共通）

●当社の信用リスク

当社がお客様に引渡すべき株券等の引渡しが、履行期日又は両者が合意した日に行われない場合があります。この場合、「株券等貸借取引に関する基本契約書」・「信用取引規定兼株券貸借取引取扱規定第2章」に基づき遅延損害金をお客様にお支払いいたしますが、履行期日又は両者が合意した日に返還を受けていた場合に株主として得られる権利（株主優待、議決権等）は、お客様は取得できません。

●投資者保護基金の対象とはなりません

貸付いただいた株券等は、証券会社が自社の資産とお客様の資産を区別して管理する分別保管および投資者保護基金による保護の対象とはなりません。

●手数料等諸費用について

お客様は、株券等を貸付いただくにあたり、取引手数料等の費用をお支払いいただく必要はありません。

●配当金等、株主の権利・義務について（貸借期間中、株券等は楽天証券名義又は第三者名義等になっており、この期間中において、お客様は株主としての権利義務をすべて喪失します。そのため一定期間株式を所有することで得られる株主提案権等について、貸借期間中はその株式を所有していないこととなりますので、ご注意ください。（但し、信用貸株では貸借期間中の全部又は一部においてお客様名義のままの場合もあり、この場合、お客様は株主としての権利義務の一部又は全部が保持されます。）株式分割等コーポレートアクションが発生した場合、自動的にお客様の口座に対象銘柄を返却することで、株主の権利を獲得します。権利獲得後の貸出設定は、お客様のお取引状況によってお手続きが異なりますのでご注意ください。

貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金については、発行会社より配当の支払いがあった後所定の期日に、所得税相当額を差し引いた配当金相当額が楽天証券からお客様へ支払われます。

国内株式のリスクと費用について

●株主優待、配当金の情報について
株主優待の情報は、東洋経済新報社から提供されるデータを基にしており、原則として毎月1回の更新となります。更新日から次回更新日までの内容変更、売買単位の変更、分割による株数の変動には対応しておりません。また、貸株サービス・信用貸株内における配当金の情報は、TMI（Tokyo Market Information；東京証券取引所）より提供されるデータを基にしており、原則として毎営業日の更新となります。株主優待・配当金は各企業の判断で廃止・変更になる場合がありますので、必ず当該企業のホームページ等で内容をご確認ください。
●大量保有報告（短期大量譲渡に伴う変更報告書）の提出について
楽天証券、または楽天証券と共同保有者（金融商品取引法第27条の23第５項）の関係にある楽天証券グループ会社等が、貸株対象銘柄について変更報告書（同法第27条の25第２項）を提出する場合において、当社がお客様からお借りした同銘柄の株券等を同変更報告書提出義務発生日の直近60日間に、お客様に返還させていただいているときは、お客様の氏名、取引株数、契約の種類（株券消費貸借契約である旨）等、同銘柄についての楽天証券の譲渡の相手方、および対価に関する事項を同変更報告書に記載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。
●税制について
株券貸借取引で支払われる貸借料及び貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金相当額は、お客様が個人の場合、一般に雑所得又は事業所得として、総合課税の対象となります。なお、配当金相当額は、配当所得そのものではないため、配当控除は受けられません。また、お客様が法人の場合、一般に法人税に係る所得の計算上、益金の額に算入されます。税制は、お客様によりお取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、税務署又は税理士等の専門家にご確認ください。

外国株式のリスクと費用について

■外国株式　海外ETF／ETN／REIT

【外国株式等の取引にかかるリスク】
外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

●レバレッジ型、インバース型ＥＴＦ及びＥＴＮのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の期間の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。

・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。

・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が＋（プラス）１を超えるものを「レバレッジ型」といい、－（マイナス）のもの（マイナス１倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式の信用取引にかかるリスク】
米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

【外国株式等の取引にかかる費用】
〔現物取引〕

分類	取引手数料
米国株式	約定代金の0.495%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：22米ドル（税込）
中国株式	約定代金の0.55%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・上限手数料：5,500円（税込）
アセアン株式	約定代金の1.10%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・手数料上限なし
分類	取引手数料

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。
※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。
※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の取引手数料に2,200円（税込）が追加されます。

外国株式のリスクと費用について

〔米国株式信用取引〕
1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料
約定代金の0.33%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：16.5米ドル（税込）

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。
※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

●米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

外国株式のリスクと費用について

■米国株式　海外ETF／ETN／REIT

【米国株式の取引にかかるリスク】

米国株式は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ＥＴＦ）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

●レバレッジ型、インバース型ＥＴＦ及びＥＴＮのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の期間の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。

・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。

・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が＋（プラス）１を超えるものを「レバレッジ型」といい、－（マイナス）のもの（マイナス１倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式の取引にかかる費用】
〔現物取引〕
1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料
約定代金の0.495%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：22米ドル（税込）

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。
※売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

〔米国株式信用取引〕
1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料
約定代金の0.33%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：16.5米ドル（税込）

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。
※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

●米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
●米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

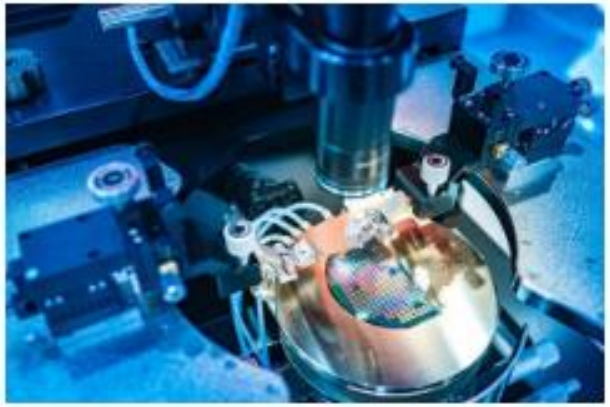
レポート週１本、動画週１本を配信中

［動画で解説］特集：ハイテクグロース株2023年10-12月期決算の見所（生成AI大ブームの中での半導体関連とGAFAM決算の注目ポイント）

特集記事
2024/1/12

#銘柄選び　#業績

#米国株



特集：ハイテクグロース株2023年10-12月期決算の見所（生成AI大ブームの中での半導体関連とGAFAM決算の注目ポイント）

楽天証券投資weekly セクター・投資テーマ編
2024/1/12

#銘柄選び　#業績

#米国株

本日のメニュー

1．GAFAMのAI戦略

2．AI半導体

3．半導体製造装置

4．AIサーバー

5．2024年ハイテクグロース株の投資リスク

6．まとめと注目銘柄

１．GAFAMのAI戦略

- 2024年のハイテク３大テーマ

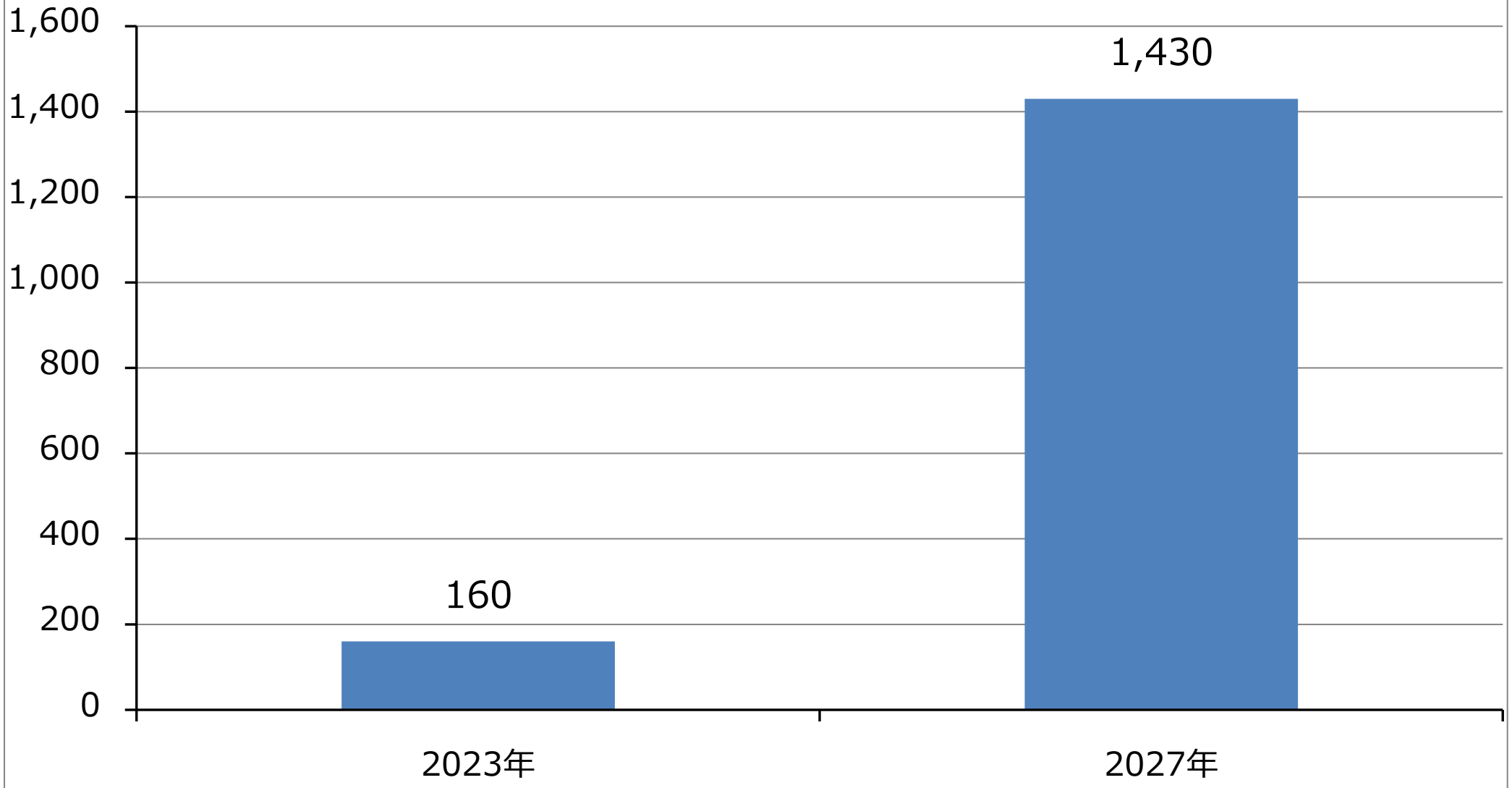
１．生成AI

２．AI半導体

３．生成AIあるいはAI全般で変化するセクターはどこか（IT、医療、軍事、自動車、その他）

生成AIに対する世界の企業支出

（単位：億ドル、出所：IDC2023年10月16日プレスリリースより楽天証券作成、生成AIソフトウェアと関連のインフラハードウェア、IT／ビジネスサービスの合計）



- **なぜ、「生成AI」なのか。**

✓ 企業が作成しなければならない文書、グラフ、画像がこの5～10年で急増。対顧客サービス、取扱説明書、環境、人権、LGBTなどへの対応、企業内や対顧客のプレゼンテーション資料、広告などを、グローバル企業の場合は数十か国語で作成しなければならない。

✓ 情報システムが大規模になり複雑になるにしたがってプログラミング需要が大きくなっている。

✓ **文書、グラフ、画像、プログラミングをAIで生成できないか。**

✓ 生成AIを高度化すれば対話型の**「AIアシスタント」**として使える。ただし、金がかかる。それを、オープンAI×マイクロソフトがやってのけた。

- アメリカのAI研究機関「オープンAI」（2015年12月設立）が2022年11月に公開した生成AI「ChatGPT」が大ブームとなっている。
- マイクロソフトは、2019年からオープンAIに対して資金提供しており、オープンAIとは強力な提携関係にある。
- ChatGPTの中身が進歩。GPT3.5（無料版）から現在はGPT3.5Turboになった。有料版はGPT4.0Turbo。世界第2位のクラウドサービス「Azure（アジュール）」でも、ChatGPTを使えるようになっている。検索システム「Bing」でも最新の生成AI「GPT-4」が使える。
- GPT-4の機能を加えた業務支援ソフト「Microsoft365 Copilot」を2023年11月1日に発売（法人向け「Microsoft365 Copilot」は1人当たり月額30ドル）。日本向けは2023年12月1日から。

- アルファベット、メタ・プラットフォームズ、アマゾン・ドット・コムも独自の生成AIを開発、ユーザーに提供している。アップルは生成AIへの態度を明確にしていない。
- 画像生成AIが実務の中に急速に入ってきた。動画生成AIでアニメを作る動きもある。
- 生成AIを企業や官庁の情報システムに組み込む動きが2024年から本格化すると思われる。生成AIを基軸としたITの長期ブーム（7～8年？）到来か。
- **生成AIをきっかけとしたGAFAM5社間の地殻変動はあるのか。**

GAFAM各社の生成AI

社名	生成AIまたは生成AI系サービス	コメント
マイクロソフト	ChatGPT	アメリカのAI研究機関「オープンAI」が開発。無料版はGPT3.5→GPT3.5Turbo、有料版は現在GPT4.0Turboを搭載。2022年11月30日に一般公開され生成AIブームの火付け役となった。
	GPT-4	ChatGPTの次世代版。生成AIとしての能力が向上するとともに、画像生成機能が付いた。
	Microsoft Copilot	GPT-4の機能を取り込んだ業務支援ソフト。2023年11月1日発売。
アマゾン・ドット・コム	AMAZON BEDROCK	AWSの生成AIフルサービス。AI21 Labs、Anthropic、Cohere、Stability AI、METAなどの大規模言語モデルを選択できるフルマネージドサービスで、企業が生成系AIアプリケーションを開発することをサポートする。
	Amazon Q	企業向け生成AI（AIアシスタント）。「AMAZON BEDROCK」に接続し複数の大規模言語モデルを使う。有償提供。
	プロジェクト・ナイル	アマゾンの次世代型生成AI開発計画。一部で報道された。

出所：会社資料と各種報道より楽天証券作成

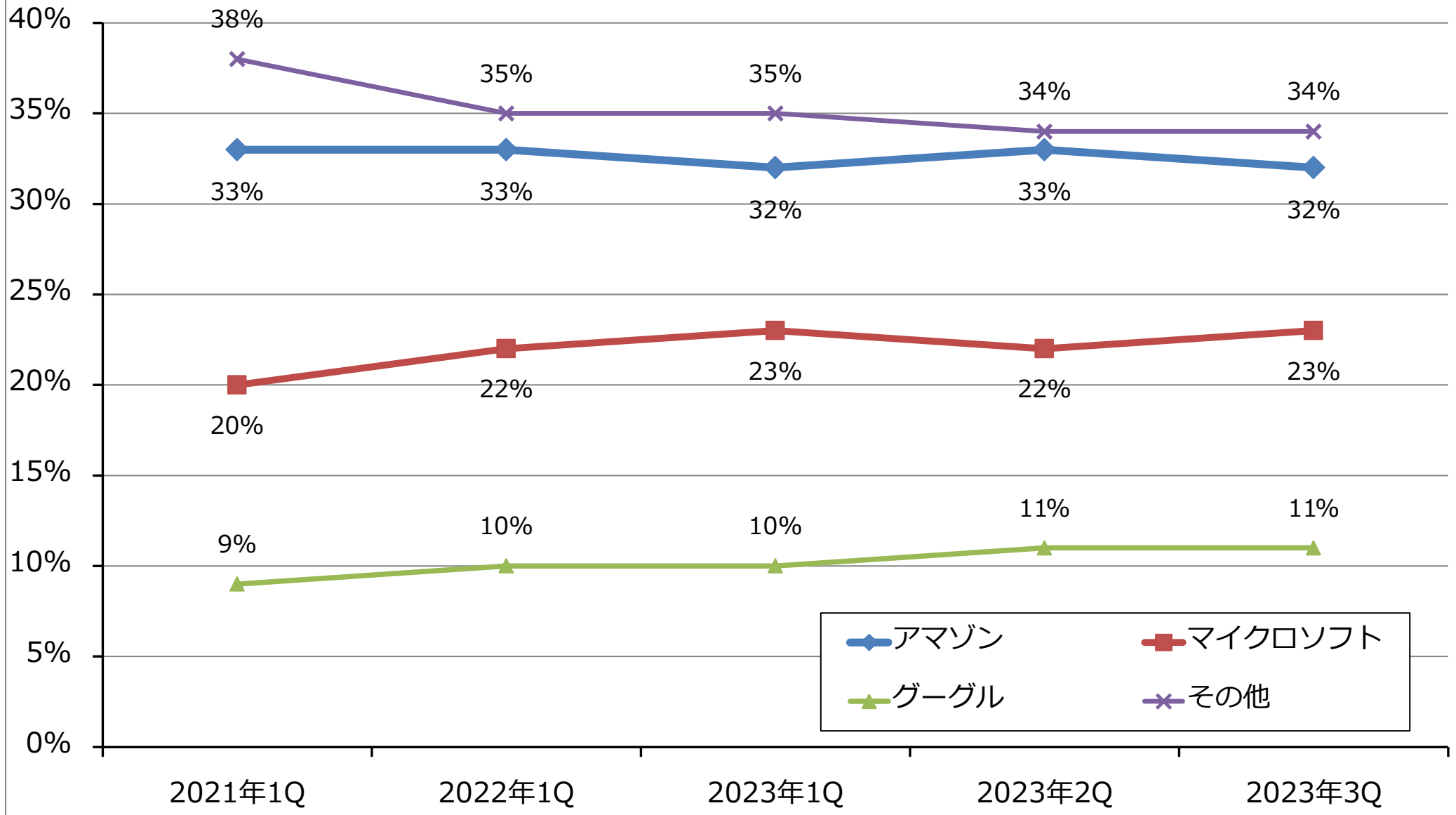
GAFAM各社の生成AI

社名	生成AIまたは生成AI系サービス	コメント
アルファベット（グーグル）	Google Bard	グーグルの対話型生成AI。現在試験運用中。
	PaLM	グーグルの大規模言語モデル（LLM）。2022年4月公開。
	PaLM2	グーグルの大規模言語モデル（LLM）。PaLMの次世代版。2023年5月公開。
	Duet AI	「Microsoft Copilot」と同様の業務支援AI。2023年5月より有償提供。
	Google Gemini	2023年12月6日発表。グーグルの次世代型生成AI。
メタ・プラットフォームズ	LlaMA（ラーマ）	研究者向け大規模言語モデル
	LlaMA2	LlaMAの商用版。2023年10月からリリースした。無償提供。
	Code LlaMA	LlaMA2をベースにしたプログラムコード生成AI。2023年8月リリース。
	AIサンドボックス	メタ・プラットフォームズが自社の広告主向けに提供している生成AI。2023年10月リリース。
	META AI	消費者向け生成AI。AIとのチャット、画像生成が可能。
	imagine	META AIから分離した消費者向け画像生成AI。2023年12月提供開始。
アップル		独自の生成AI開発計画が進行中と言う複数の報道がある。2024年後半に発売する新型iPhoneと新型iPadに生成AIを実装するという報道もある。

出所：会社資料と各種報道より楽天証券作成

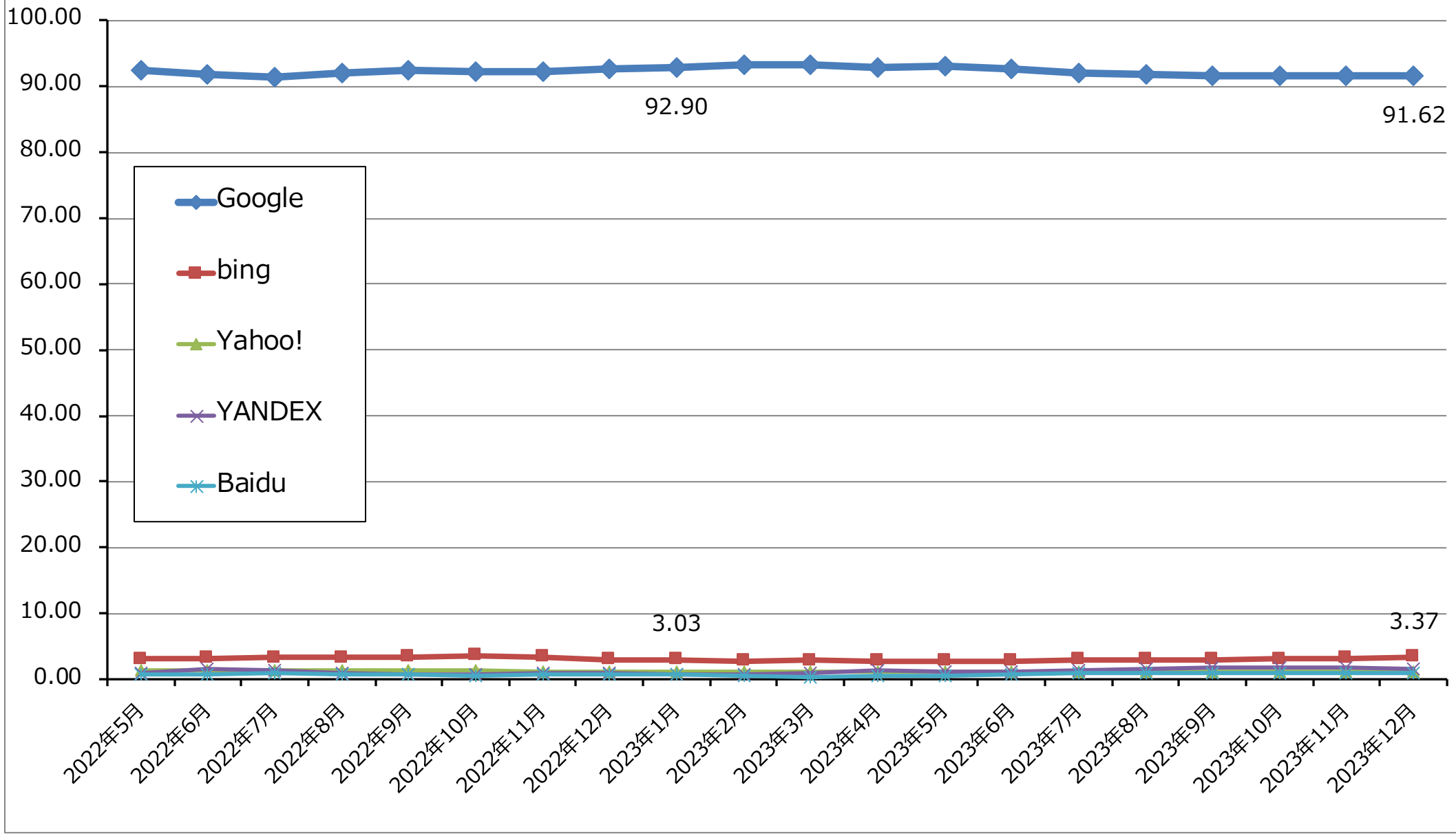
クラウド・インフラストラクチャー・サービス市場の世界シェア

（出所：Synergy Research groupプレスリリースより楽天証券作成）



検索エンジンの世界シェア

（単位：%、出所：statcounterより楽天証券作成）



マイクロソフトの業績

	2022年6月期	2023年6月期	**2024年6月期 楽天証券予想（今回）**	**2025年6月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	198,270	211,915	**244,000**	**276,000**
前年比	18.0%	6.9%	**15.1%**	**13.1%**
営業利益	83,383	88,523	**108,000**	**128,000**
営業利益率	42.1%	41.8%	**44.3%**	**46.4%**
前年比	19.3%	6.2%	**22.0%**	**18.5%**
当期純利益	72,738	72,361	**87,000**	**103,000**
前年比	18.7%	-0.5%	**20.2%**	**18.4%**
EPS	9.75	9.70	**11.66**	**13.80**
配当	2.48	2.72	**3.00**	**3.00**
PER	40.0	40.2	**33.4**	**28.2**

株価	389.47	ドル（2024年1月17日）
時価総額	2,893,373	百万ドル（2024年1月17日）
発行済株数	7,462	百万株（完全希薄化後、Diluted）
発行済株数	7,429	百万株（完全希薄化前、Basic）

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

アマゾン・ドット・コムの業績

	2021年12月期	2022年12月期	**2023年12月期 楽天証券予想（今回）**	**2024年12月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	469,822	513,983	**571,000**	**641,000**
前年比	21.7%	9.4%	**11.1%**	**12.3%**
営業利益	24,879	12,248	**34,000**	**50,000**
営業利益率	5.3%	2.4%	**6.0%**	**7.8%**
前年比	8.6%	-50.8%	**177.6%**	**47.1%**
当期純利益	33,364	-2,722	**28,500**	**42,000**
前年比	56.4%	赤転	**黒転**	**47.4%**
EPS	3.16	-0.26	**2.70**	**3.98**
配当	0.00	0.00	**0.00**	**0.00**
PER	48.0	-588.4	**56.2**	**38.1**

株価	151.71	ドル（2024年1月17日）
時価総額	1,565,951	百万ドル（2024年1月17日）
発行済株数	10,558	百万株（完全希薄化後、Diluted）
発行済株数	10,322	百万株（完全希薄化前、Basic）

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

メタ・プラットフォームズの業績

	2021年12月期	2022年12月期	**2023年12月期 会社予想（今回）**	**2023年12月期 楽天証券予想（今回）**	**2024年12月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	117,929	116,609	**133,000**	**134,100**	**157,000**
前年比	37.2%	-1.1%	**14.1%**	**15.0%**	**17.1%**
営業利益	46,753	28,944		**46,000**	**58,000**
営業利益率	39.6%	24.8%		**34.3%**	**36.9%**
前年比	43.1%	-38.1%		**58.9%**	**26.1%**
当期純利益	39,370	23,200		**38,000**	**47,900**
前年比	35.1%	-41.1%		**63.8%**	**26.1%**
EPS	14.91	8.78		**14.39**	**18.14**
配当	0.00	0.00		**0.00**	**0.00**
PER	24.7	41.9		**25.6**	**20.3**

株価 368.37 ドル（2024年1月17日）

時価総額 948,921 百万ドル（2024年1月17日）

発行済株数 2,641 百万株（完全希薄化後、Diluted）

発行済株数 2,576 百万株（完全希薄化前、Basic）

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

注３：会社予想は予想レンジの平均値。

アルファベットの業績

	2021年12月期	2022年12月期	**2023年12月期 楽天証券予想（今回）**	**2024年12月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	257,637	282,836	**305,200**	**345,000**
前年比	41.2%	9.8%	**7.9%**	**13.0%**
営業利益	78,714	74,842	**84,000**	**104,000**
営業利益率	30.6%	26.5%	**27.5%**	**30.1%**
前年比	90.9%	-4.9%	**12.2%**	**23.8%**
当期純利益	76,033	59,972	**72,600**	**89,800**
前年比	88.8%	-21.1%	**21.1%**	**23.7%**
EPS	5.99	4.72	**5.72**	**7.07**
配当	0.00	0.00	**0.00**	**0.00**
PER	23.6	29.9	**24.7**	**20.0**

株価(GOOGL)　141.47 ドル（2024年1月17日）

時価総額　1,779,834 百万ドル（2024年1月17日）

発行済株数　12,696 百万株（完全希薄化後、Diluted）

発行済株数　12,581 百万株（完全希薄化前、Basic）

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

アップルの業績

	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	**2024年9月期 楽天証券予想（今回）**	**2025年9月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	365,817	394,328	383,285	**433,000**	**494,000**
前年比	33.3%	7.8%	-2.8%	**13.0%**	**14.1%**
営業利益	108,949	119,437	114,301	**140,000**	**165,000**
営業利益率	29.8%	30.3%	29.8%	**32.3%**	**33.4%**
前年比	64.4%	9.6%	-4.3%	**22.5%**	**17.9%**
当期純利益	94,680	99,803	96,995	**116,800**	**137,900**
前年比	64.9%	5.4%	-2.8%	**20.4%**	**18.1%**
EPS	6.04	6.37	6.19	**7.45**	**8.80**
配当	0.8650	0.9200	0.9500	**1.0000**	**1.0000**
PER	30.2	28.7	29.5	**24.5**	**20.8**

株価 182.68 ドル（2024年1月17日）

時価総額 2,849,705 百万ドル（2024年1月17日）

発行済株数 15,672 百万株（完全希薄化後、Diluted）

発行済株数 15,599 百万株（完全希薄化前、Basic）

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

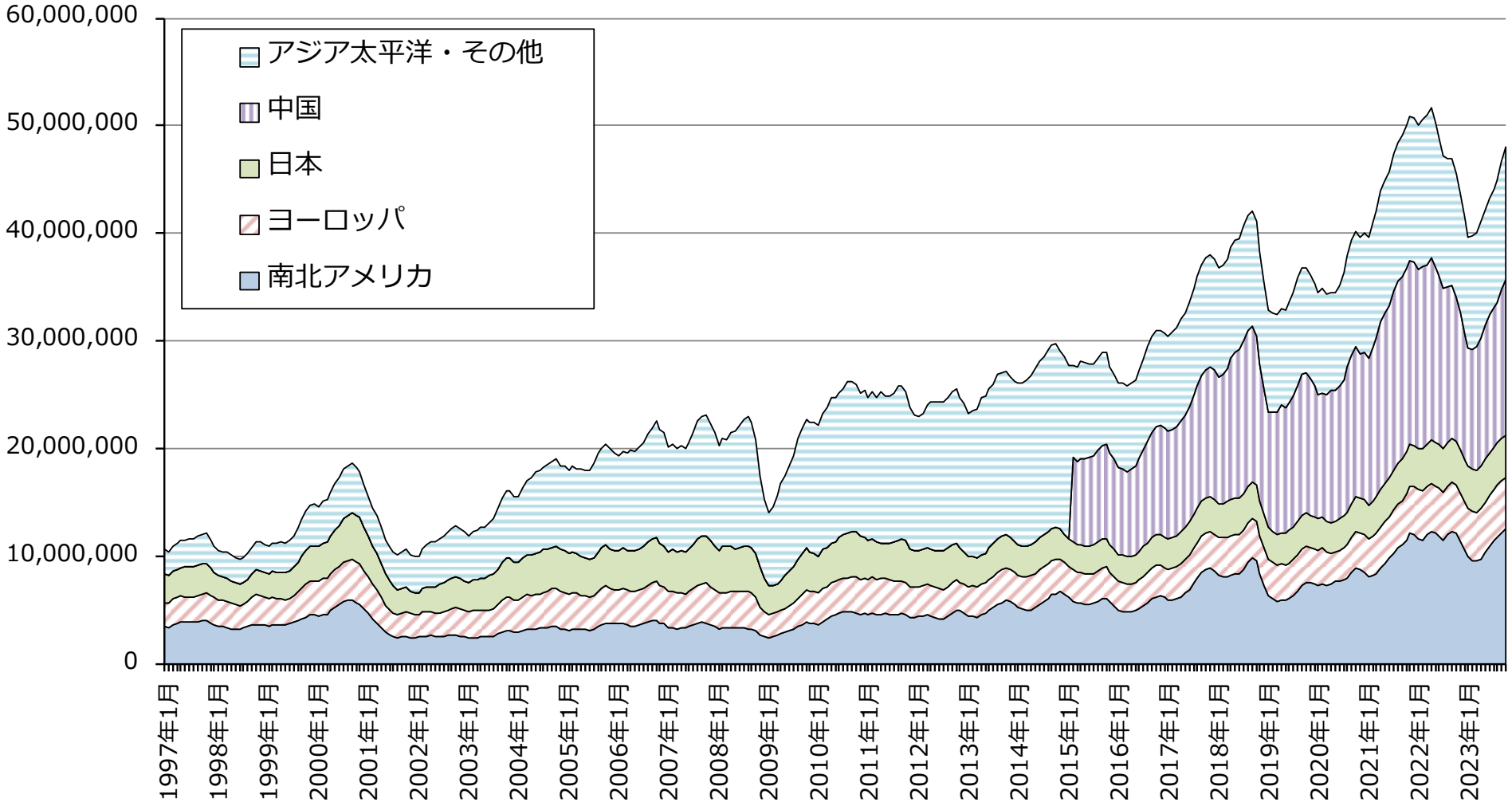
注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

2．AI半導体

世界半導体出荷金額（3カ月移動平均）

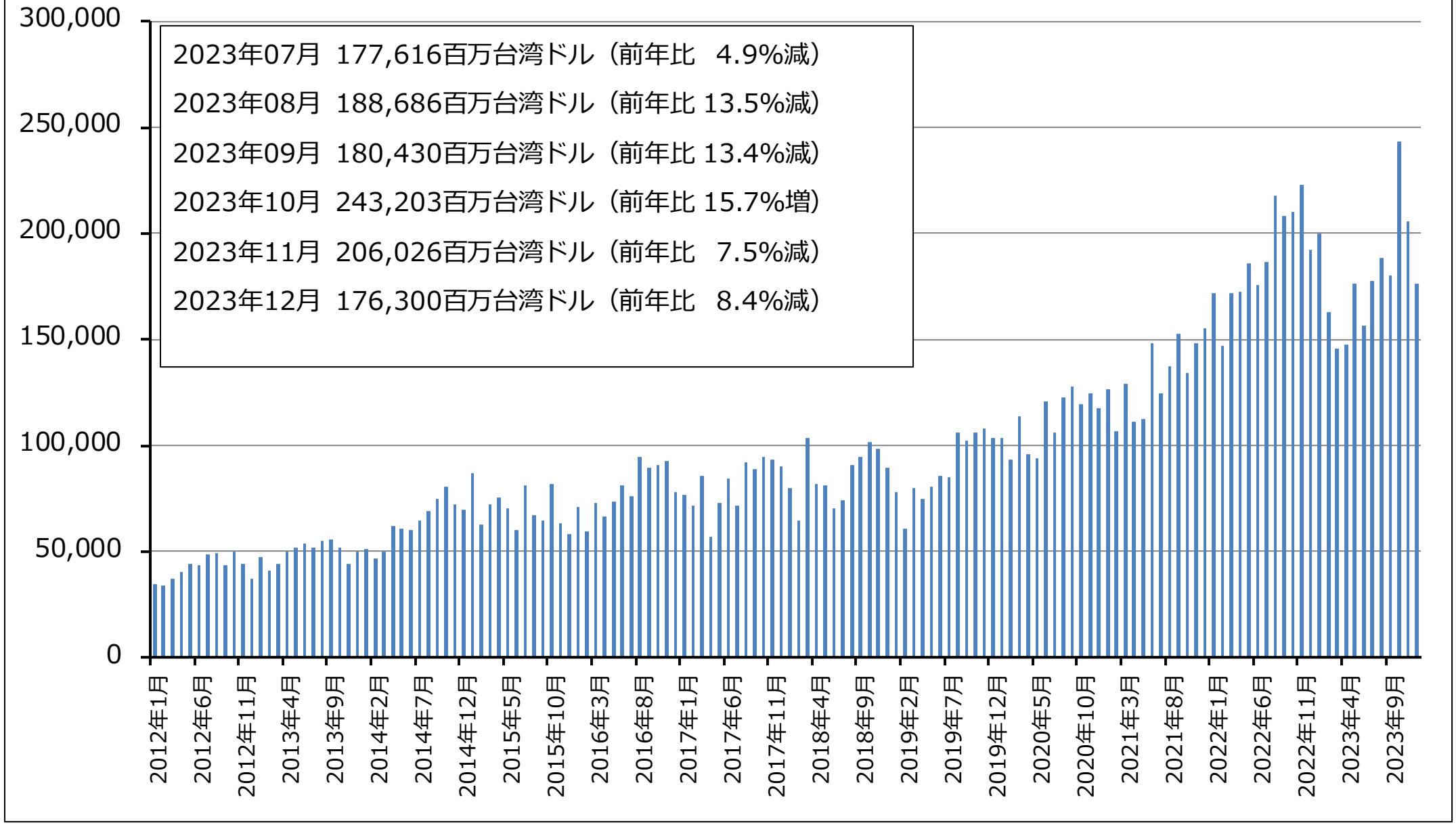
（単位：1,000ドル、注：2015年3月から「アジア太平洋・その他」から「中国」を分離、

出所：SIA（米国半導体工業会）より楽天証券作成）



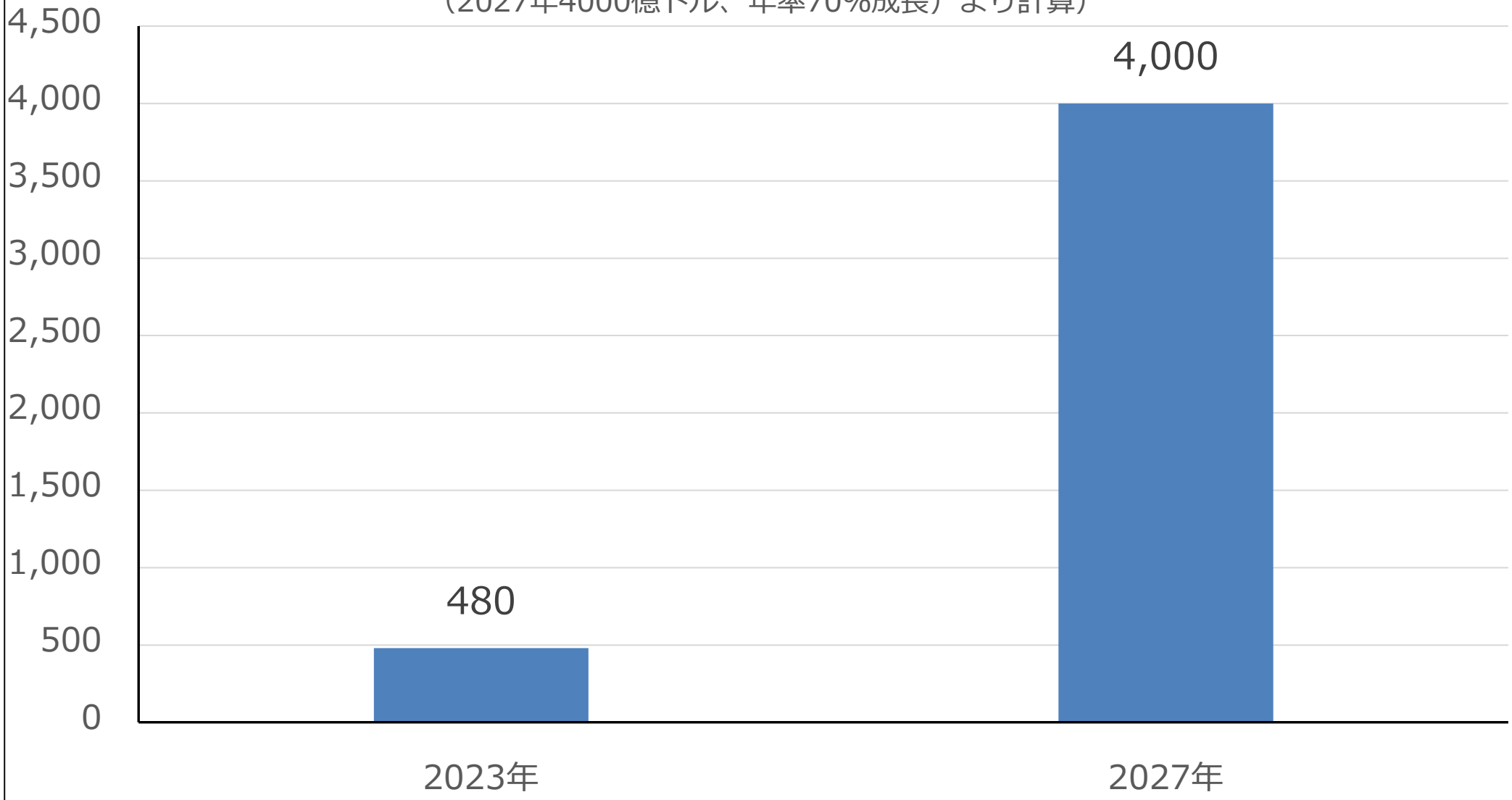
TSMCの月次売上高

（単位：100万台湾ドル、出所：会社資料より楽天証券作成）



AI半導体の世界市場予測

（単位：億ドル、出所：AMDより楽天証券作成、2023年はAMDのコメント
（2027年4000億ドル、年率70%成長）より計算）



●AI半導体とは

✓AI半導体とは、AIの学習、推論を行う半導体の総称。AIシステムの駆動だけでなく、AI開発にも使う。

✓AIの機能：「ディープラーニング」によって大量の学習素材（各種の出版物、記事、画像、映像等）を学習し、「推論」する（大規模言語モデルの場合は、質問者、命令者が正しいと考えるであろう言葉の組み合わせを提示する）。

✓10年以上前は「ディープラーニング」「推論」ともCPUで行っていたが、2012年頃に出た複数の学術論文によって、「ディープラーニング」はGPUで行ったほうが早く効率的ということがわかった。ここから「ディープラーニング」はGPU、「推論」はCPUで行うようになった。

✓エヌビディアの「H100」は推論性能が大幅に向上→GPUで「ディープラーニング」と「推論」の両方を行うことが可能になった。

● **AI半導体市場**

✓エヌビディア：H100

✓AMD：Instinct MI250、Instinct MI300シリーズ（2023年10-12月期出荷開始）

✓クラウドサービス会社の内製AI半導体：AWS（アマゾン・ドット・コム）のTrainium （学習用）とInferentia（推論用）、グーグル・クラウド（アルファベット）のTPU（テンソル・プロセッシング・ユニット）、Azure（マイクロソフト）のAIアクセラレータ「マイア」（2024年前半に稼働開始）。

✓インテル：生成AI処理機能強化型CPU、ディープラーニング専用半導体「Gaudi」。

✓新興半導体メーカーのAI半導体。

✓AI半導体の市場シェアは、楽天証券の推定では、エヌビディア80～90%、クラウドサービスの内製GPU10%前後、AMD10%未満。

● 「H100」対「MI300X」

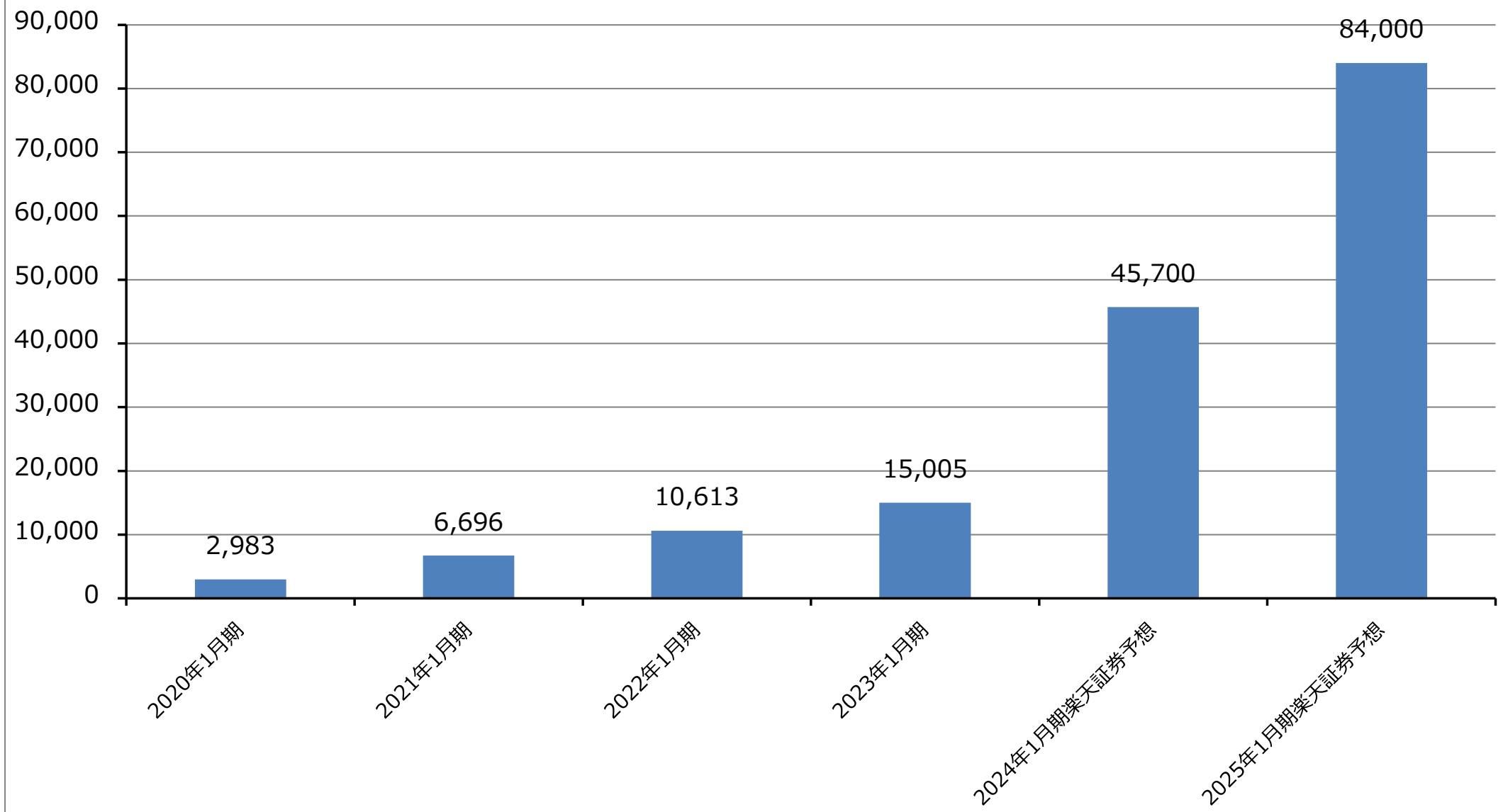
✓AMDによれば、大規模言語モデルで比較した場合、学習、推論とも、「MI300X Platform」は「H100 HGX」の約２倍の性能。

✓これに対してエヌビディアは、AMDがパフォーマンス比較を行う際に、「H100」用の専用ソフトウェアを使用していなかったと反論。これに対してAMDは、再反論。

✓決着は、第3者のベンチマークテストを待つしかないが、発売時期の差を考えると、「H100」は素晴らしい性能と言える。

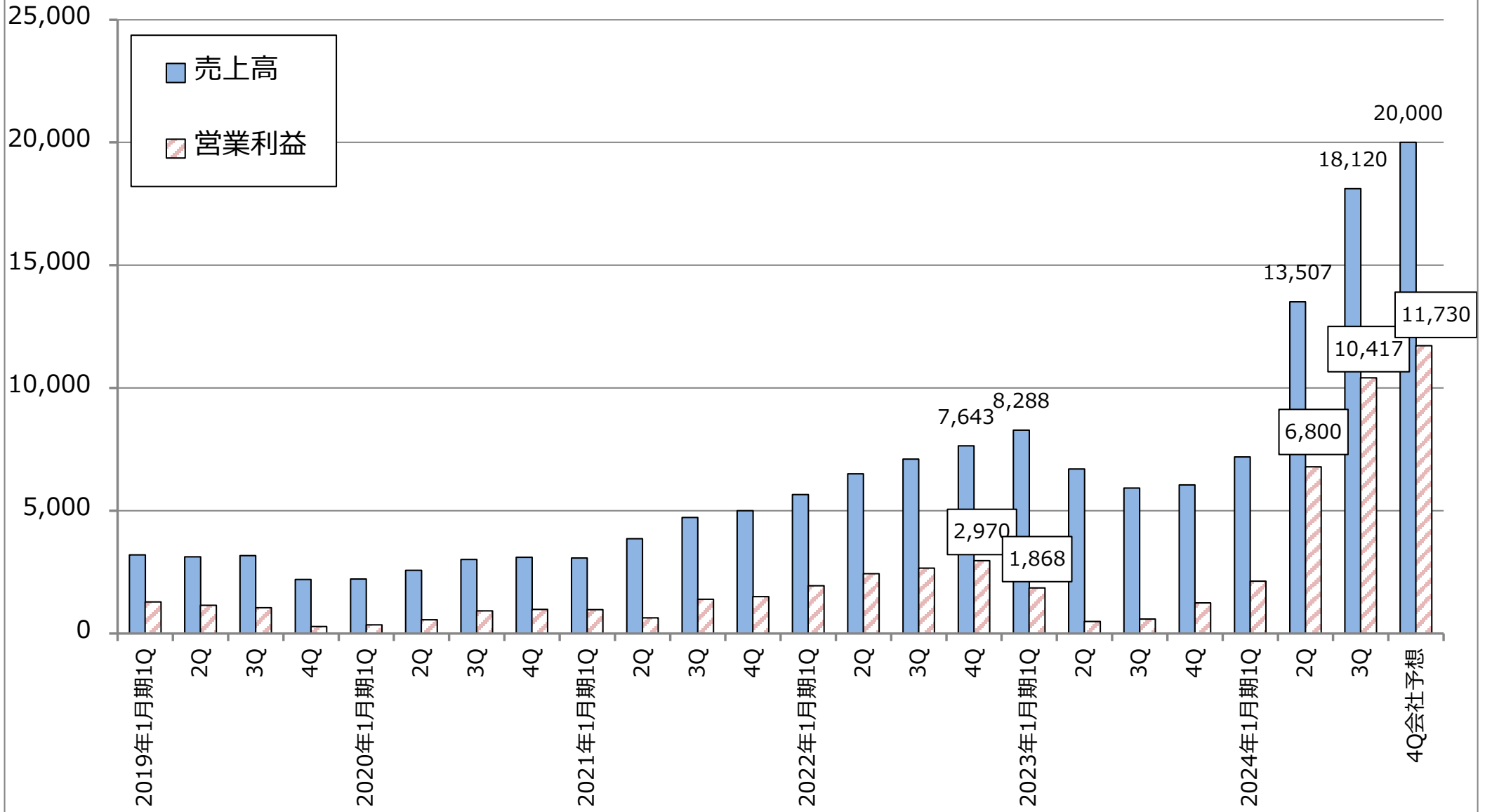
エヌビディアのデータセンター向け売上高

（単位：100万ドル、出所：会社資料より楽天証券作成、予想は楽天証券）



エヌビディアの四半期業績

（単位：100万ドル、出所：会社資料より楽天証券作成。注：2024年1月期4Q会社予想は予想レンジの平均値）



エヌビディアのAI用GPUロードマップ

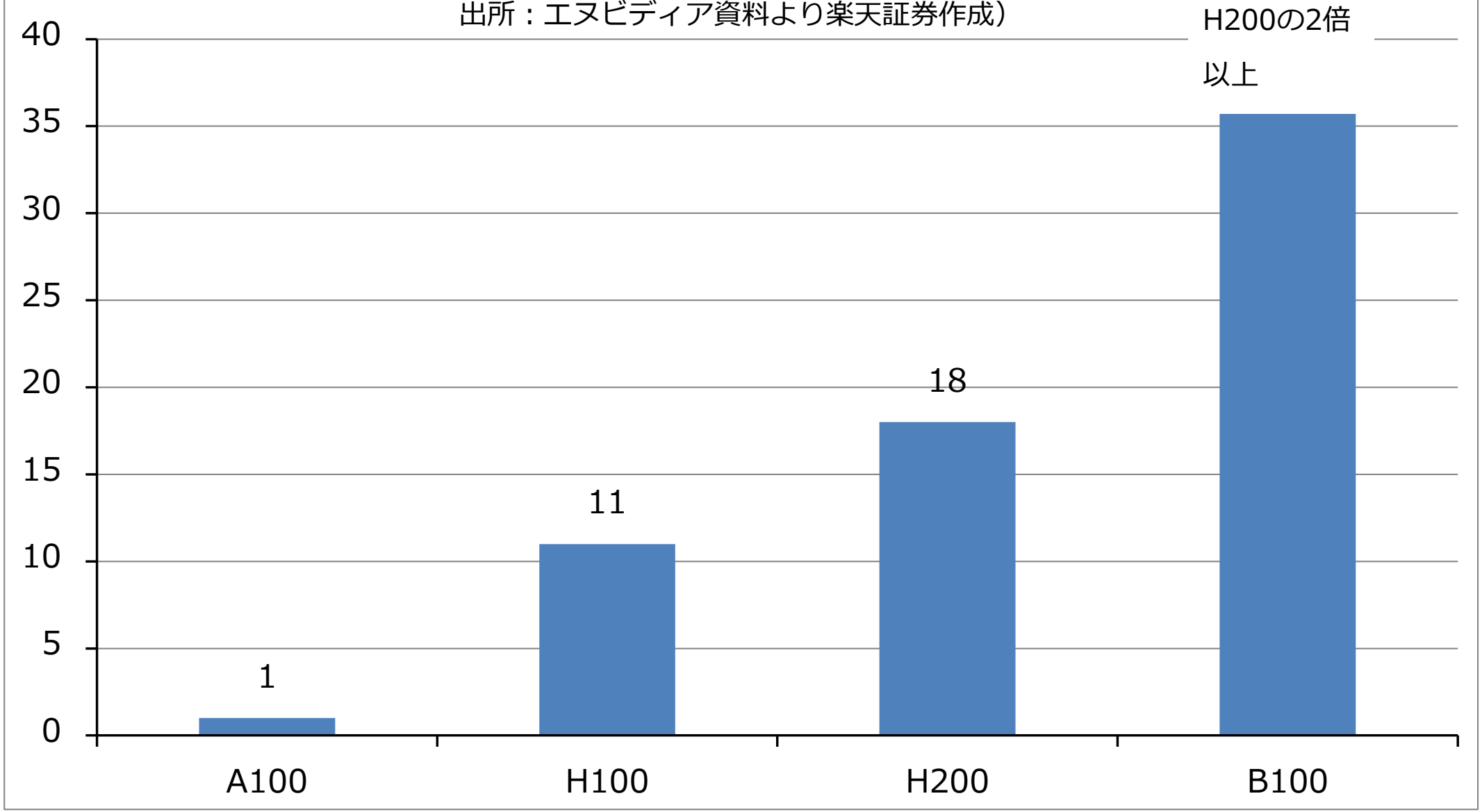
2021年		2023年		2024年		2025年	（接続するCPUの）アーキテクチャー	特徴・強化点（推論とトレーニング（学習））
				GH200NVL	GB200NVL	GX200NVL	Arm	学習と推論
				↑	↑	↑		
				GH200	GB200	GX200	Arm	推論
				↑	↑	↑		
A100	→	**H100**	→	**H200**	→ **B100**	→ **X100**	x86	学習と推論
			↘		↓	↓		
				L40S	B40	X40	x86	企業向け、推論
		Quantum（エヌビディアの高速ネットワーク機器群）		400G	→ 800G	→ 1600G		InfiniBand AIインフラストラクチャー
		Spectrum-X（エヌビディアのイーサネット・プラットフォーム）		400G	→ 800G	→ 1600G		企業向けイーサネットとハイパースケールAIインフラストラクチャー

出所：「NVIDIA Investor Presentation October 2023」26ページより楽天証券作成

エヌビディアのAI用GPU：世代毎の推論性能の変化

（生成AI「GPT-3」を動かしたときの推論性能の変化。A100の推論性能を１とする。

出所：エヌビディア資料より楽天証券作成）



世界スマートフォン出荷台数：四半期ベース

	出荷台数	前年比	うちiPhone	前年比	うちAndroid	前年比	iPhoneシェア
2020年1-3月期	275.2	-11.9%	36.7	-0.3%	238.5	-13.4%	13.3%
2020年4-6月期	276.6	-16.6%	37.6	11.2%	239.0	-19.7%	13.6%
2020年7-9月期	354.9	-1.0%	41.7	-10.5%	313.2	0.4%	11.7%
2020年10-12月期	374.3	1.2%	87.5	18.6%	286.8	-3.1%	23.4%
2021年1-3月期	345.5	25.5%	55.2	50.4%	290.3	21.7%	16.0%
2021年4-6月期	313.4	13.2%	44.4	17.6%	269.0	12.6%	14.2%
2021年7-9月期	334.2	-6.7%	51.1	20.9%	283.1	-10.3%	15.3%
2021年10-12月期	367.6	-3.2%	85.0	-3.0%	282.6	-3.2%	23.1%
2022年1-3月期	314.1	-8.9%	56.5	2.2%	257.6	-11.0%	18.0%
2022年4-6月期	287.6	-8.7%	45.4	0.5%	241.4	-10.3%	15.8%
2022年7-9月期	303.1	-9.3%	52.3	2.3%	250.8	-11.4%	17.3%
2022年10-12月期	300.6	-18.2%	72.1	-15.2%	228.5	-19.1%	24.0%
2023年1-3月期	268.6	-14.5%	55.2	-2.3%	213.4	-17.2%	20.6%
2023年4-6月期	265.3	-7.8%	42.5	-6.4%	222.8	-7.7%	16.0%
2023年7-9月期	302.8	-0.1%	53.6	2.5%	249.2	-0.6%	17.7%
2023年10-12月期	**326.1**	**8.5%**	**80.5**	**11.7%**	**245.6**	**7.5%**	**24.7%**

単位：100万台

出所：iDCプレスリリースより楽天証券作成

世界パソコン出荷台数：四半期ベース

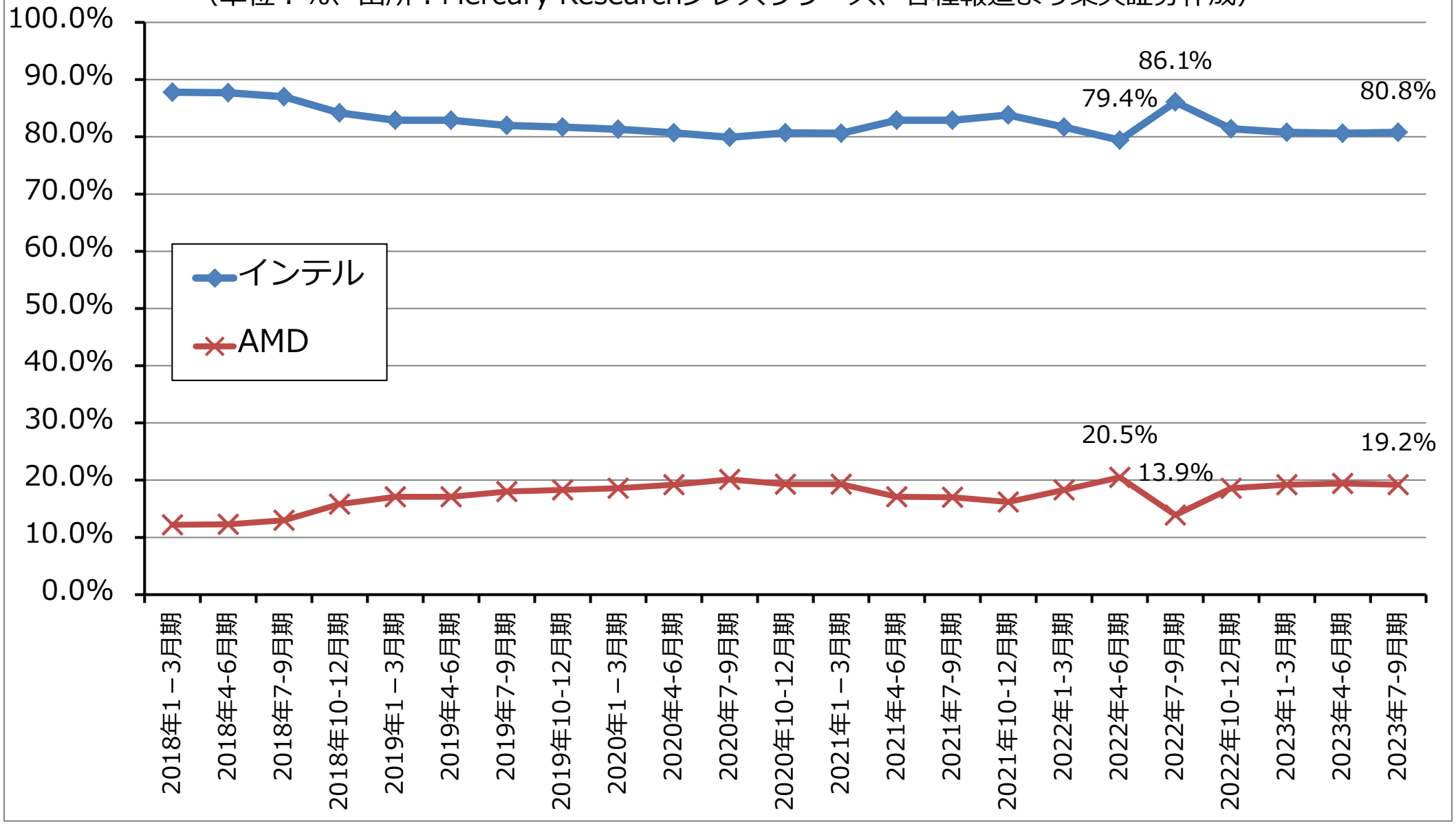
	PC出荷台数合計	前年比	うちアップル（Mac）	前年比	うちWindowsその他のPC	前年比	Macシェア
2020年1-3月期	54,123	-8.3%	3,164	-18.8%	50,959	-7.5%	5.8%
2020年4-6月期	73,879	13.7%	5,630	36.9%	68,249	12.1%	7.6%
2020年7-9月期	83,394	17.6%	6,959	40.3%	76,435	15.9%	8.3%
2020年10-12月期	91,744	26.3%	7,001	42.1%	84,743	25.2%	7.6%
2021年1-3月期	84,800	56.7%	6,900	118.1%	77,900	52.9%	8.1%
2021年4-6月期	84,200	14.0%	6,200	10.1%	78,000	14.3%	7.4%
2021年7-9月期	87,319	4.7%	7,174	3.1%	80,145	4.9%	8.2%
2021年10-12月期	93,500	1.9%	7,700	10.0%	85,800	1.2%	8.2%
2022年1-3月期	80,200	-5.4%	6,900	0.0%	73,300	-5.9%	8.6%
2022年4-6月期	71,100	-15.6%	4,800	-22.6%	66,300	-15.0%	6.8%
2022年7-9月期	73,800	-15.5%	9,400	31.0%	64,400	-19.6%	12.7%
2022年10-12月期	68,900	-26.3%	7,000	-9.1%	61,900	-27.9%	10.2%
2023年1-3月期	56,900	-29.1%	4,100	-40.6%	52,800	-28.0%	7.2%
2023年4-6月期	61,600	-13.4%	5,300	10.4%	56,300	-15.1%	8.6%
2023年7-9月期	68,200	-7.6%	7,200	-23.4%	61,000	-5.3%	10.6%
2023年10-12月期	**67,100**	**-2.6%**	**5,700**	**-18.6%**	**61,400**	**-0.8%**	**8.5%**

単位：1000台

出所：iDCプレスリリースより楽天証券作成

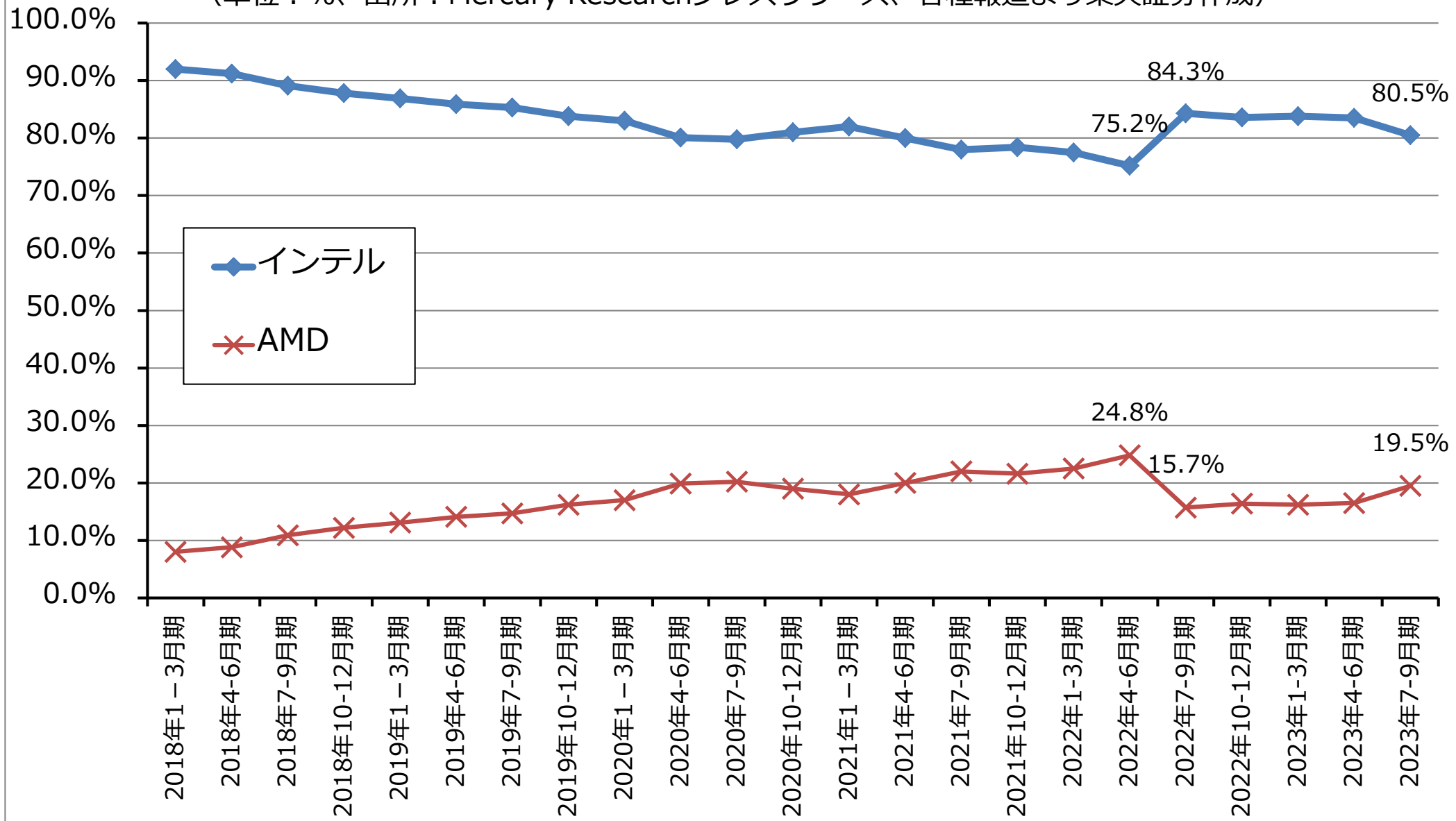
デスクトップPC用CPUの市場シェア

（単位：%、出所：Mercury Researchプレスリリース、各種報道より楽天証券作成）



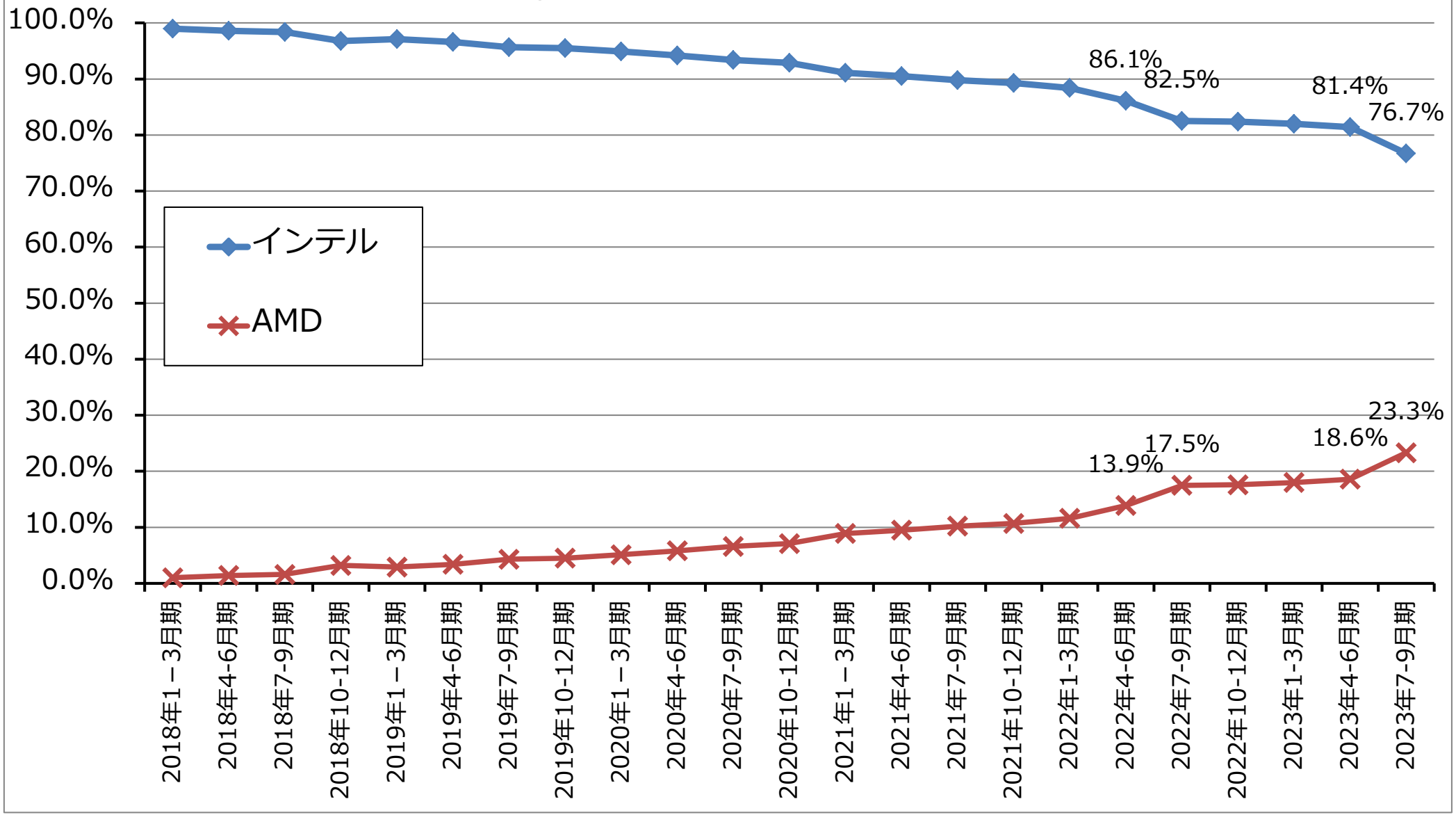
モバイル用CPUの市場シェア

（単位：%、出所：Mercury Researchプレスリリース、各種報道より楽天証券作成）



サーバー用CPUの市場シェア

（単位：%、出所：Mercury Researchプレスリリース、各種報道より楽天証券作成）



エヌビディアの業績

	2022年1月期	2023年1月期	**2024年1月期 楽天証券予想（今回）**	**2025年1月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	26,914	26,974	**58,800**	**100,000**
前年比	61.4%	0.2%	**118.0%**	**70.1%**
営業利益	10,041	4,224	**31,100**	**62,000**
営業利益率	37.3%	15.7%	**52.9%**	**62.0%**
前年比	121.6%	-57.9%	**636.3%**	**99.4%**
当期純利益	9,752	4,368	**27,600**	**53,500**
前年比	125.1%	-55.2%	**531.9%**	**93.8%**
EPS	3.91	1.75	**11.07**	**21.45**
配当	0.16	0.16	**0.16**	**0.16**
PER	143.4	320.0	**50.7**	**26.1**

株価	560.53	ドル（2024年1月17日）
時価総額	1,383,388	百万ドル（2024年1月17日）
発行済株数	2,494	百万株（完全希薄化後、Diluted）
発行済株数	2,468	百万株（完全希薄化前、Basic）

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

AMDの業績

	2021年12月期	2022年12月期	**2023年12月期 楽天証券予想（今回）**	**2024年12月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	16,434	23,601	**22,700**	**27,400**
前年比	68.3%	43.6%	**-3.8%**	**20.7%**
営業利益	3,648	1,264	**200**	**3,400**
営業利益率	22.2%	5.4%	**0.9%**	**12.4%**
前年比	166.5%	-65.4%	**-84.2%**	**1600.0%**
当期純利益	3,162	1,320	**200**	**2,900**
前年比	27.0%	-58.3%	**-84.8%**	**1350.0%**
EPS	1.94	0.81	**0.12**	**1.78**
配当	0.00	0.00	**0.00**	**0.00**
PER	82.5	197.7	**1,304.6**	**90.0**

株価 160.17 ドル（2024年1月17日）

時価総額 258,835 百万ドル（2024年1月17日）

発行済株数 1,629 百万株（完全希薄化後、Diluted）

発行済株数 1,616 百万株（完全希薄化前、Basic）

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

インテルの業績

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	**2023年12月期 楽天証券予想（今回）**	**2024年12月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	77,867	79,024	63,054	**54,000**	**64,700**
前年比	8.2%	1.5%	-20.2%	**-14.4%**	**19.8%**
営業利益	23,678	19,456	2,334	**-2,100**	**4,000**
営業利益率	30.4%	24.6%	3.7%	**-3.9%**	**6.2%**
前年比	7.5%	-17.8%	-88.0%	**赤転**	**黒転**
当期純利益	20,899	19,868	8,014	**0**	**3,400**
前年比	-0.7%	-4.9%	-59.7%	**---**	**黒転**
EPS	4.94	4.70	1.90	**0.00**	**0.80**
配当	1.3375	1.30	1.46	**0.50**	**0.50**
PER	9.3	9.8	24.3	**---**	**57.3**

株価 46.06 ドル（2024年1月17日）

時価総額 193,544 百万ドル（2024年1月17日）

発行済株数 4,229 百万株（完全希薄化後、Diluted）

発行済株数 4,202 百万株（完全希薄化前、Basic）

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

TSMCの業績

	2023年12月期 1Q	2Q	3Q	**4Q**	**2024年12月期 1Q会社予想**
売上高	508,633	480,841	546,733	**625,529**	**572,300**
前年比	3.6%	-10.0%	-10.8%	**0.0%**	**12.5%**
営業利益	231,238	201,958	228,065	**260,205**	**234,800**
営業利益率	45.5%	42.0%	41.7%	**41.6%**	**41.0%**
前年比	3.3%	-23.0%	-26.5%	**-19.9%**	**1.5%**
当期純利益	206,987	181,799	211,000	**238,712**	
前年比	2.1%	-23.3%	-24.9%	**-19.3%**	

単位：百万台湾ドル、台湾ドル、米ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：会社予想は予想レンジの平均値。

TSMCの分野別売上高前期比

	2022年1-3月期	2022年4-6月期	2022年7-9月期	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	**2023年10-12月期**
スマートフォン	1%	3%	25%	-4%	-27%	-9%	33%	**27%**
ハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）	26%	13%	4%	10%	-14%	-5%	6%	**17%**
ＩoT	5%	14%	33%	-11%	-19%	-11%	24%	**-29%**
自動車	26%	14%	15%	10%	5%	3%	-24%	**13%**
デジタル民生機器	8%	5%	-2%	-23%	-5%	25%	-1%	**-35%**
その他	9%	7%	10%	28%	-18%	-5%	-2%	**-16%**
合計	12%	9%	15%	2%	-19%	-10%	14%	**14%**

出所：TSMC開示の各四半期決算カンファレンスプレゼンテーション資料に記載された分野別売上高前期比（前四半期比）。

注：表中の増減率はTSMC開示の数字であり、別表の楽天証券計算による四半期売上高に基づくものではない。

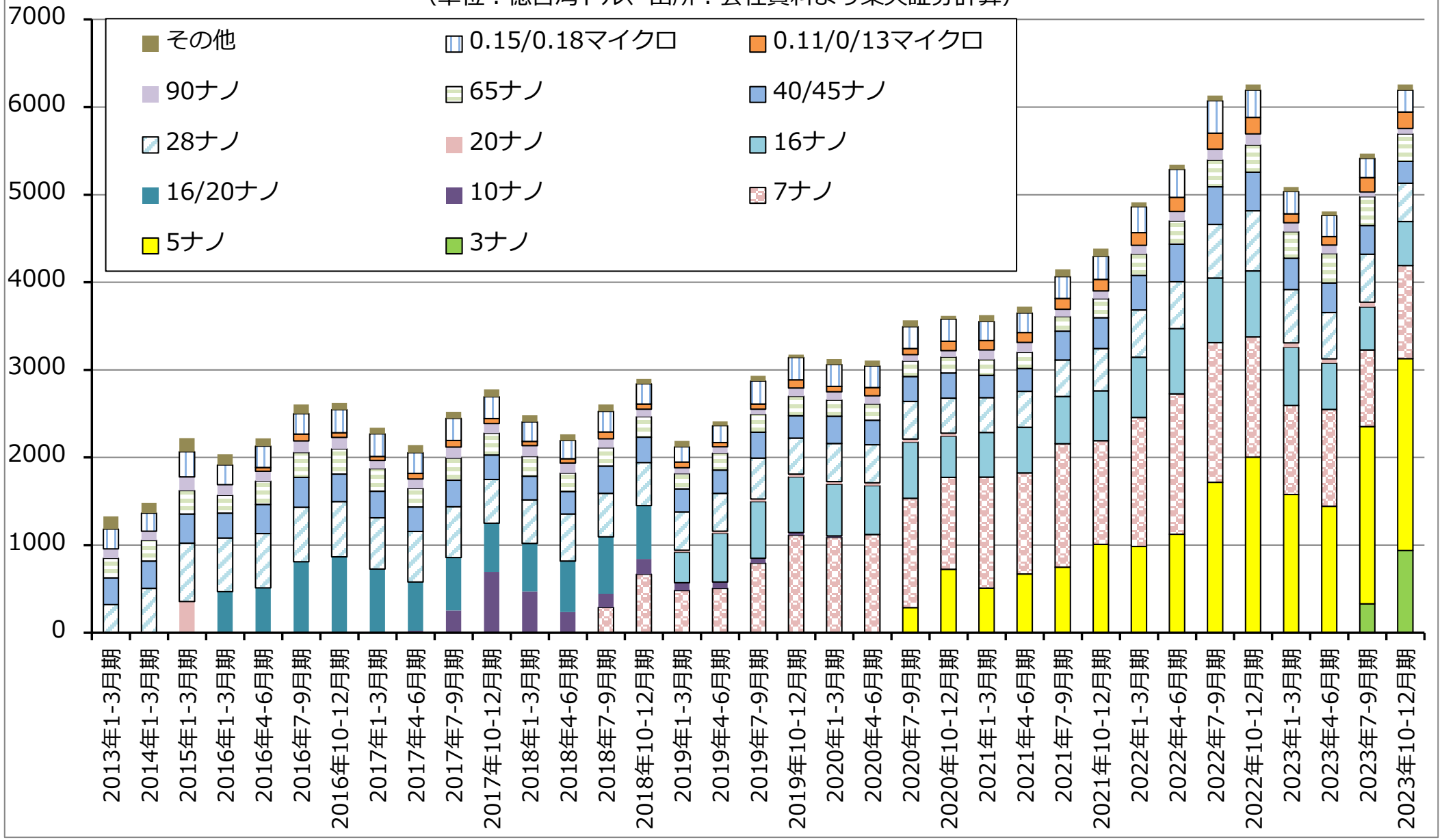
TSMCの分野別売上高構成比

	2022年1-3月期	2022年4-6月期	2022年7-9月期	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	**2023年10-12月期**
スマートフォン	40%	38%	41%	38%	34%	33%	39%	**43%**
ハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）	41%	43%	39%	42%	44%	44%	42%	**43%**
ＩoT	8%	8%	10%	8%	9%	8%	9%	**5%**
自動車	5%	5%	5%	6%	7%	8%	5%	**5%**
デジタル民生機器	3%	3%	2%	2%	2%	3%	2%	**2%**
その他	3%	3%	3%	4%	4%	4%	3%	**2%**
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	**100%**

出所：会社資料より楽天証券作成

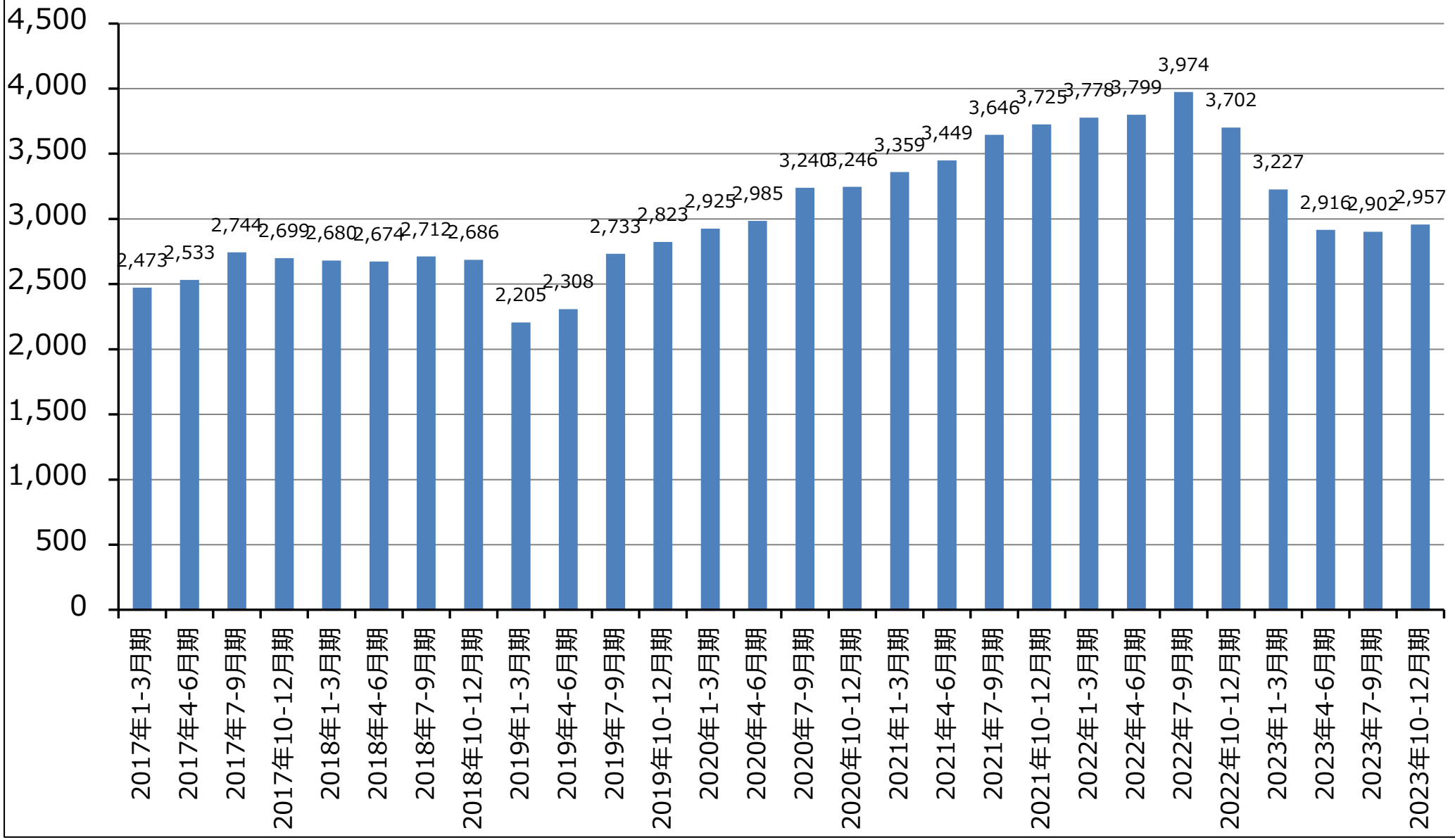
TSMCのテクノロジー別売上高

（単位：億台湾ドル、出所：会社資料より楽天証券計算）



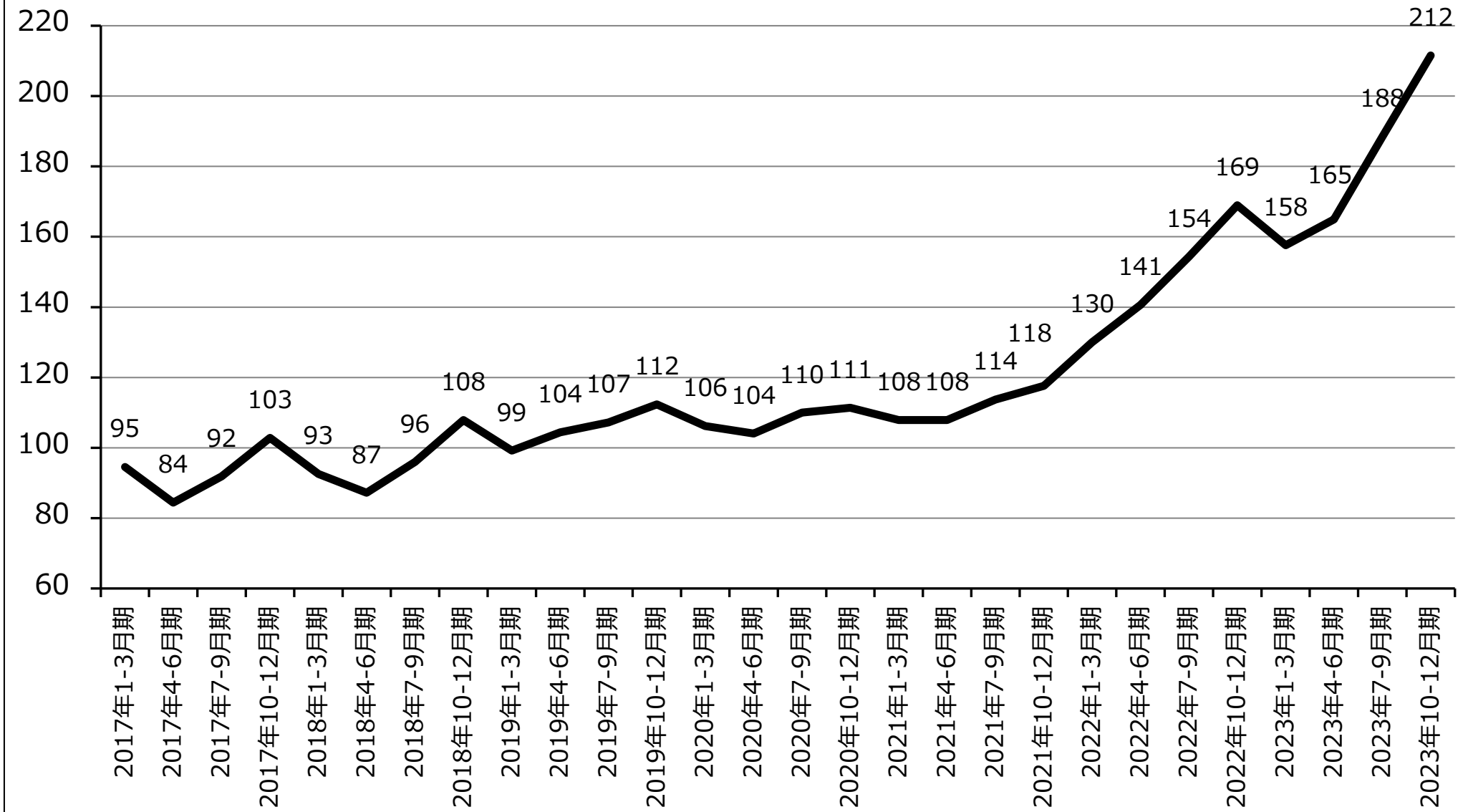
TSMCのウェハ出荷枚数

（単位：1000枚、300ミリ換算、出所：会社資料より楽天証券作成）



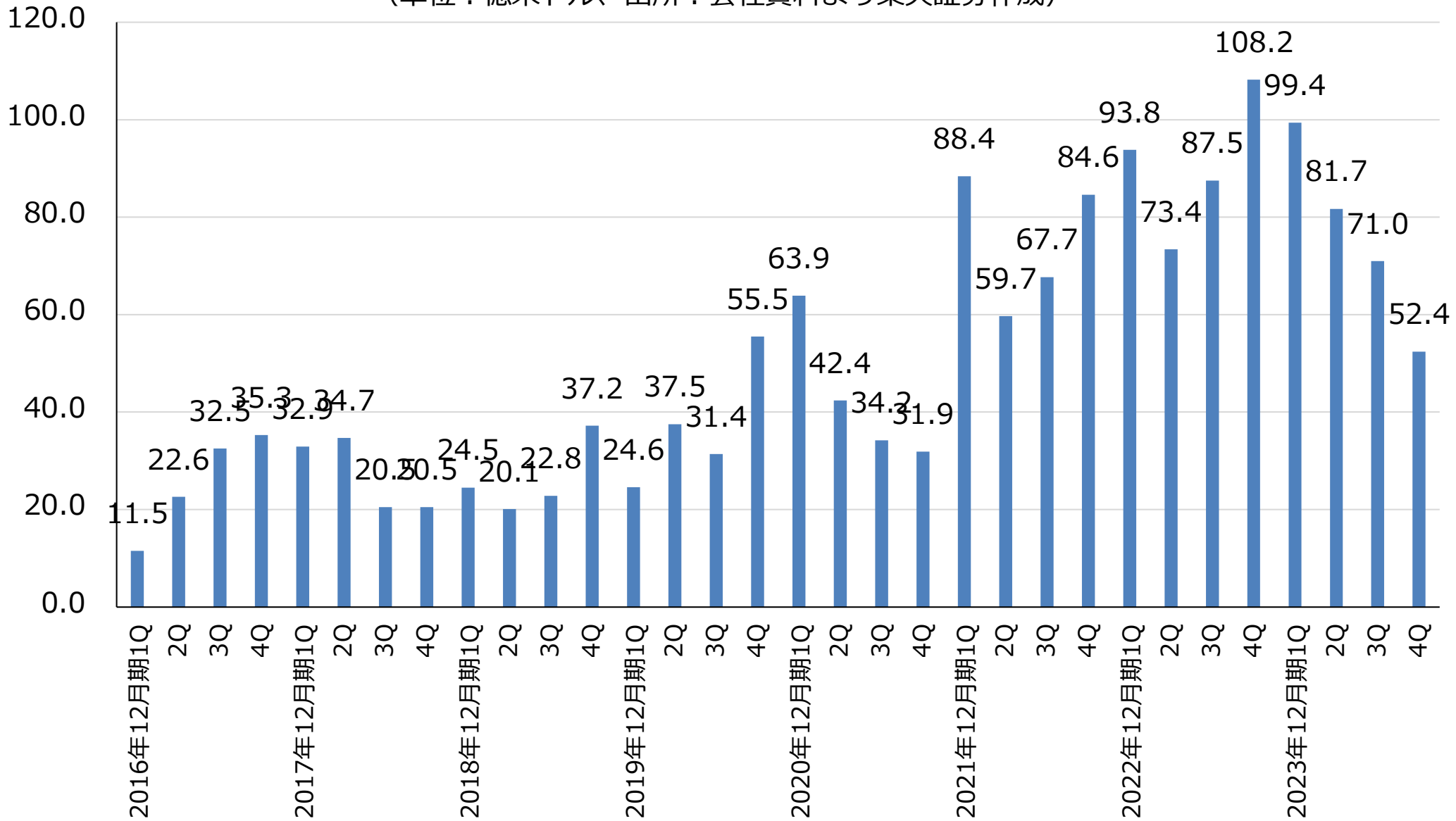
TSMC：ウェハ1枚当たり売上高

（単位：1000台湾ドル、出所：会社資料より楽天証券作成）



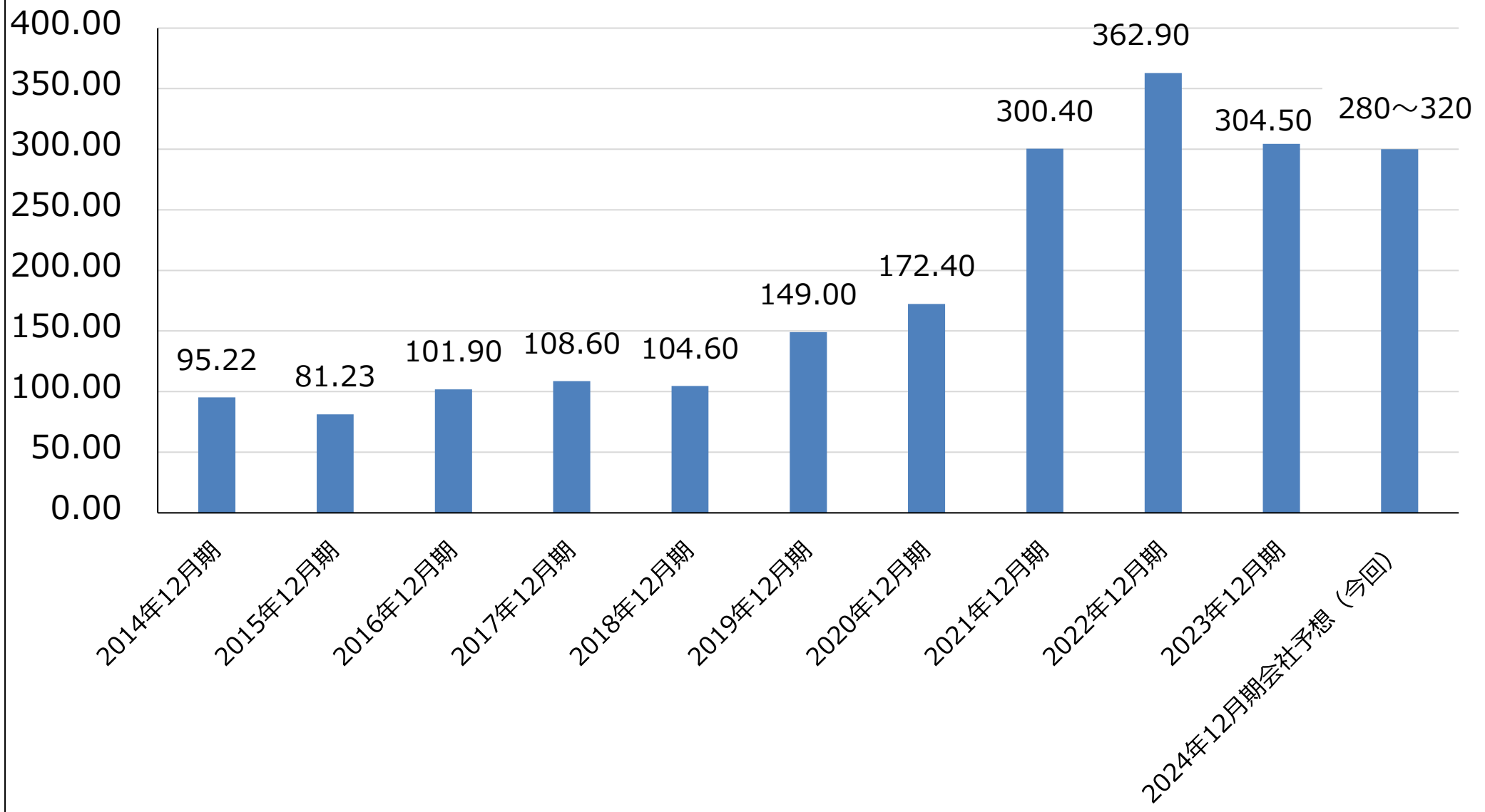
TSMC：四半期設備投資

（単位：億米ドル、出所：会社資料より楽天証券作成）



TSMCの年間設備投資

（単位：億米ドル、出所：会社資料より楽天証券作成）



TSMCの業績

	2021年12月期	2022年12月期	**2023年12月期**	2024年12月期 楽天証券予想 （前回）	**2024年12月期 楽天証券予想 （今回、暫定値）**	**2024年12月期 楽天証券予想 （今回、暫定値）**
売上高	1,587,415	2,263,891	**2,161,736**	2,500,000	**2,630,000**	**3,150,000**
前年比	18.5%	42.6%	**-4.5%**	15.6%	**21.7%**	**19.8%**
営業利益	649,981	1,121,279	**921,466**	1,080,000	**1,130,000**	**1,420,000**
営業利益率	40.9%	49.5%	**42.6%**	43.2%	**43.0%**	**45.1%**
前年比	14.7%	72.5%	**-17.8%**	17.2%	**22.6%**	**25.7%**
当期純利益	596,540	1,016,530	**838,498**	985,000	**1,028,000**	**1,292,000**
前年比	15.2%	70.4%	**-17.5%**	17.5%	**22.6%**	**25.7%**
EPS	23.01	39.20	**32.34**	37.99	**39.65**	**49.83**
配当	11.0	11.0	**13.0**	12.0	**13.0**	**13.0**
PER（台湾ベース）	25.6	15.0	**18.2**	15.5	**14.8**	**11.8**
EPS（ADRベースUSドル）	3.65	6.21	**5.13**	6.02	**6.28**	**7.90**
PER（ADRベース）	28.2	16.6	**20.1**	17.1	**16.4**	**13.0**

株価（台湾）	588.00	台湾ドル（2024年1月18日）
株価（NYSE ADR)	102.95	USドル（2024年1月17日）
時価総額	533,878	百万USドル（2024年1月17日）
発行済株数	25,929	百万株（完全希薄化後）
1台湾ドル	0.0317	USドル（2024年1月18日）

単位：百万台湾ドル、台湾ドル、米ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：TSMCは台湾市場に株式を、ニューヨーク市場にADRを上場している。ここではADRの株価によってPERと時価総額を計算した。

注３：TSMCのADRは普通株5株からなる。

●AI半導体ブームが半導体メモリにも波及してきた

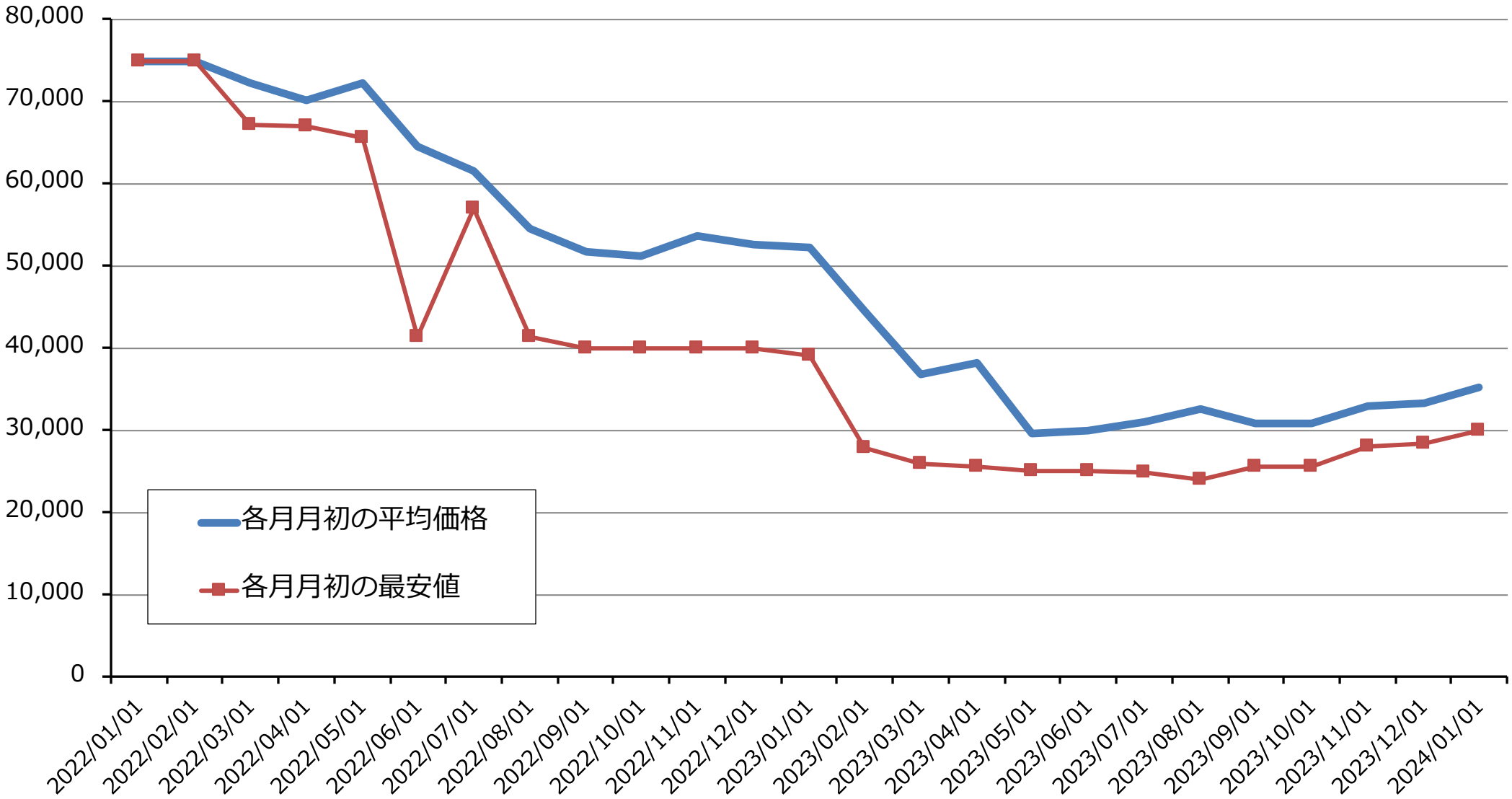
✓AI用GPUには、HBM（DRAMの最新規格「DDR5」をベースとした高速、広帯域の特殊メモリ）が必ず付随する。AI用GPUの需要急増に合わせて、HBMの需要も急増。

✓AIサーバーのスペック拡大に合わせて、DDR5を使ったメインメモリの容量も大容量化（最新型AIサーバーの最高スペックは、「H100」10基、最新型サーバー用CPU2基、メインメモリ（DDR5）８テラバイト）。DRAM大手（サムスン電子、SKハイニックス、マイクロン・テクノロジー）はHBMに優先的に設備投資しており、AIサーバーの需要急増によって、DDR5の需給が逼迫してきた。

✓2023年のHBM推定市場シェアは、SKハイニックス46～49%、サムスン電子46～49%、マイクロン4～6%。マイクロンのシェアが上昇するか注目したい。

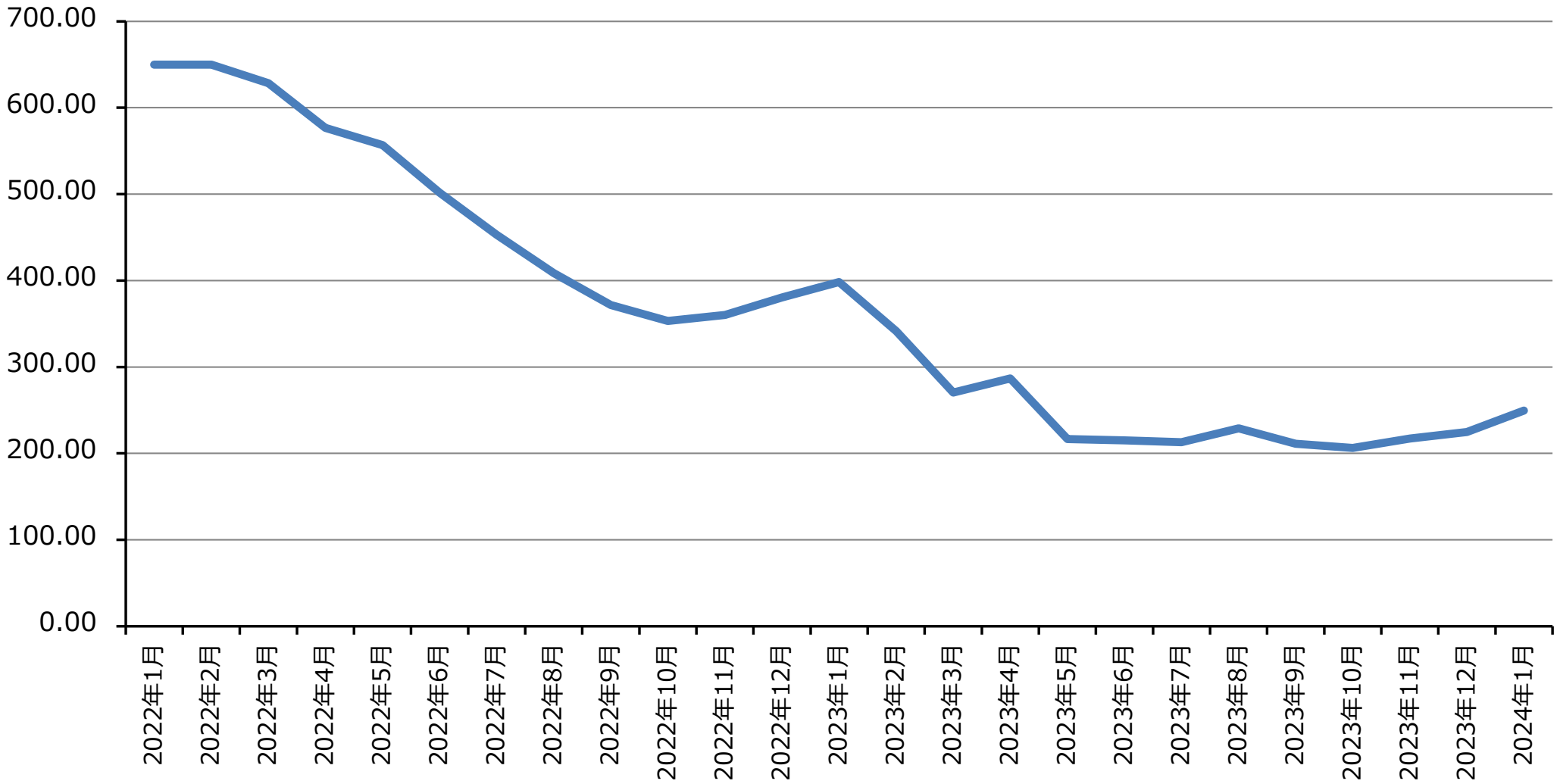
パソコン用メモリの店頭販売価格推移

（単位：円、出所：価格.comより楽天証券作成、CT2K32G48C40U5（DDR5 PC5-38400 32GB 2枚組、マイクロン・テクノロジー製）、注：各月月初の平均価格と最安値を価格.comより抽出）



パソコン用メモリの店頭販売価格推移のドル換算値

（単位：ドル、出所：価格.comより楽天証券作成、CT2K32G48C40U5 (DDR5 PC5-38400 32GB 2枚組、マイクロン・テクノロジー製）の各月月初の平均価格と最安値を価格.comより抽出し、月初のドル円レートでドル換算したもの）



マイクロン・テクノロジーの業績

	2021年8月期	2022年8月期	**2023年8月期**	**2024年8月期 楽天証券予想（今回）**	**2025年8月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	27,705	30,758	**15,540**	**22,800**	**31,000**
前年比	29.3%	11.0%	**-49.5%**	**46.7%**	**36.0%**
営業利益	6,283	9,702	**-5,745**	**-400**	**6,000**
営業利益率	22.7%	31.5%	**-37.0%**	**-1.8%**	**19.4%**
前年比	109.2%	54.4%	**赤転**	**赤字**	**黒転**
当期純利益	5,861	8,687	**-5,833**	**-700**	**5,400**
前年比	118.1%	48.2%	**赤転**	**赤字**	**黒転**
EPS	5.33	7.90	**-5.30**	**-0.64**	**4.91**
配当	0.00	0.43	**0.46**	**0.46**	**0.46**
PER	15.6	10.5	**-15.7**	**-130.9**	**17.0**

株価（NASDAQ） 83.28 ドル（2024年1月17日）

時価総額 91,608 百万ドル（2024年1月17日）

発行済株数 1,100 百万株(希薄化後、Diluted)

発行済株数 1,100 百万株(希薄化前、Basic)

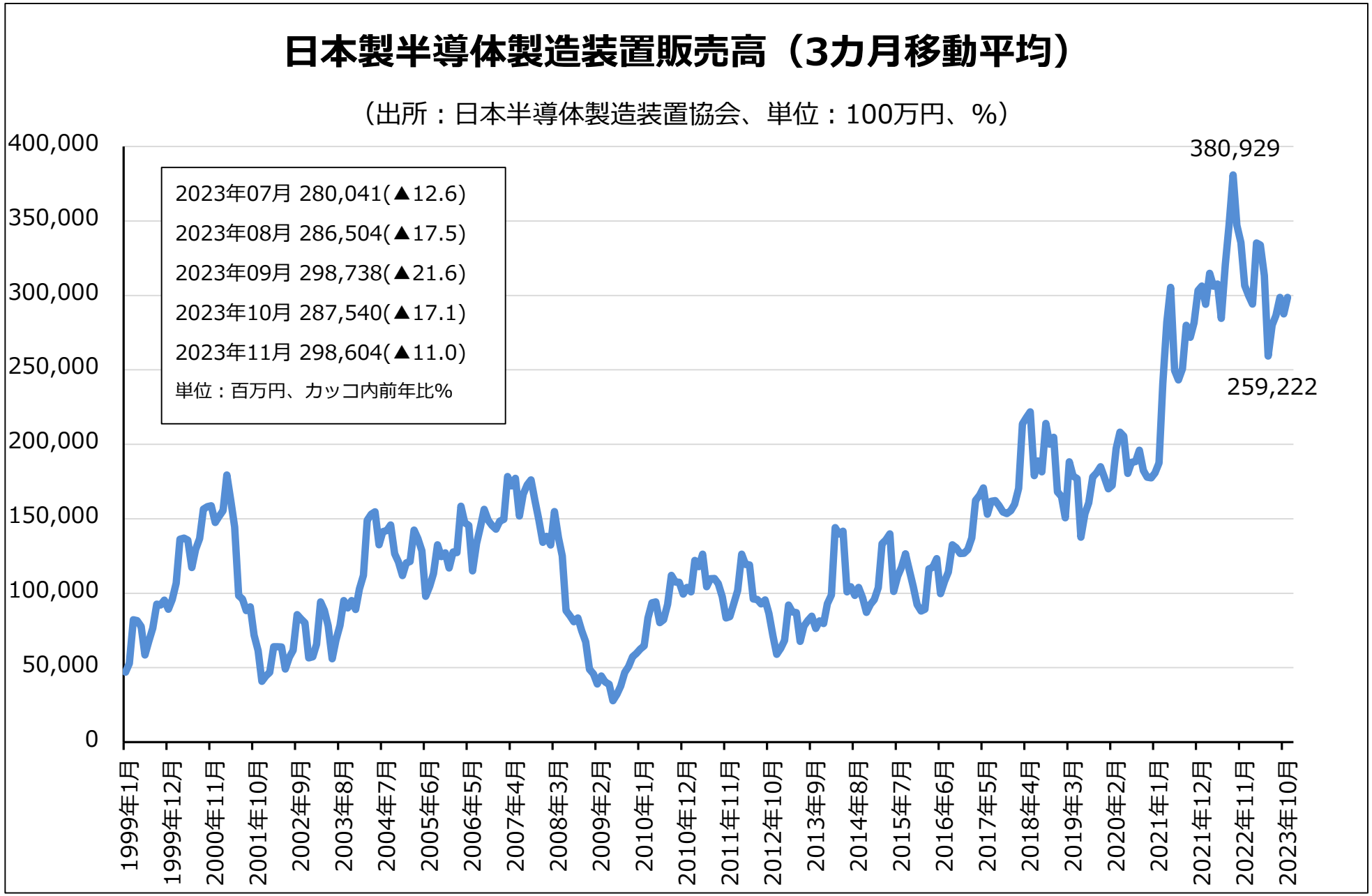
単位：100万ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

3．半導体製造装置


日本製半導体製造装置販売高（3カ月移動平均）
（出所：日本半導体製造装置協会、単位：100万円、%）
2023年07月 280,041(▲12.6)
2023年08月 286,504(▲17.5)
2023年09月 298,738(▲21.6)
2023年10月 287,540(▲17.1)
2023年11月 298,604(▲11.0)
単位：百万円、カッコ内前年比%
380,929
259,222
400,000
350,000
300,000
250,000
200,000
150,000
100,000
50,000
0
1999年1月
1999年12月
2000年11月
2001年10月
2002年9月
2003年8月
2004年7月
2005年6月
2006年5月
2007年4月
2008年3月
2009年2月
2010年1月
2010年12月
2011年11月
2012年10月
2013年9月
2014年8月
2015年7月
2016年6月
2017年5月
2018年4月
2019年3月
2020年2月
2021年1月
2021年12月
2022年11月
2023年10月

●2024年の半導体設備投資

✓3ナノの増強：2024年秋発売の新型iPhoneは普及型、上位機種（Pro、ProMAX）ともに3ナノチップセット搭載へ。GPU、パソコン用CPUもナノへ。

✓2ナノの初期投資：2025年末に2ナノ量産開始（ウェハ投入開始）か。

✓5ナノ、4ナノの増強：AI用GPUと最新型のサーバー用CPUの増産。

✓HBM、DRAM（DDR5）の増産投資。

✓中国の成熟ロジック半導体（20ナノから昔のロジック半導体）の設備投資。

✓アメリカでは人手不足のため半導体工場の建設が遅れ気味。アメリカ大統領選挙の結果を見て動く半導体メーカーもあろう。そのため、半導体設備投資は2025年も強い動きになると思われる。

●AI半導体の特徴

✓AI用GPUはダイ（半導体チップをダイという）が大きい。「H100」は814平方mm（TSMC4ナノ）、「A100」は826平方mm（TSMC7ナノ）（いずれも開発段階での面積）。ADMのサーバー用CPU「Genoa（第4世代EPYIC）」は70.8平方mm（TSMC5ナノ）×12個。

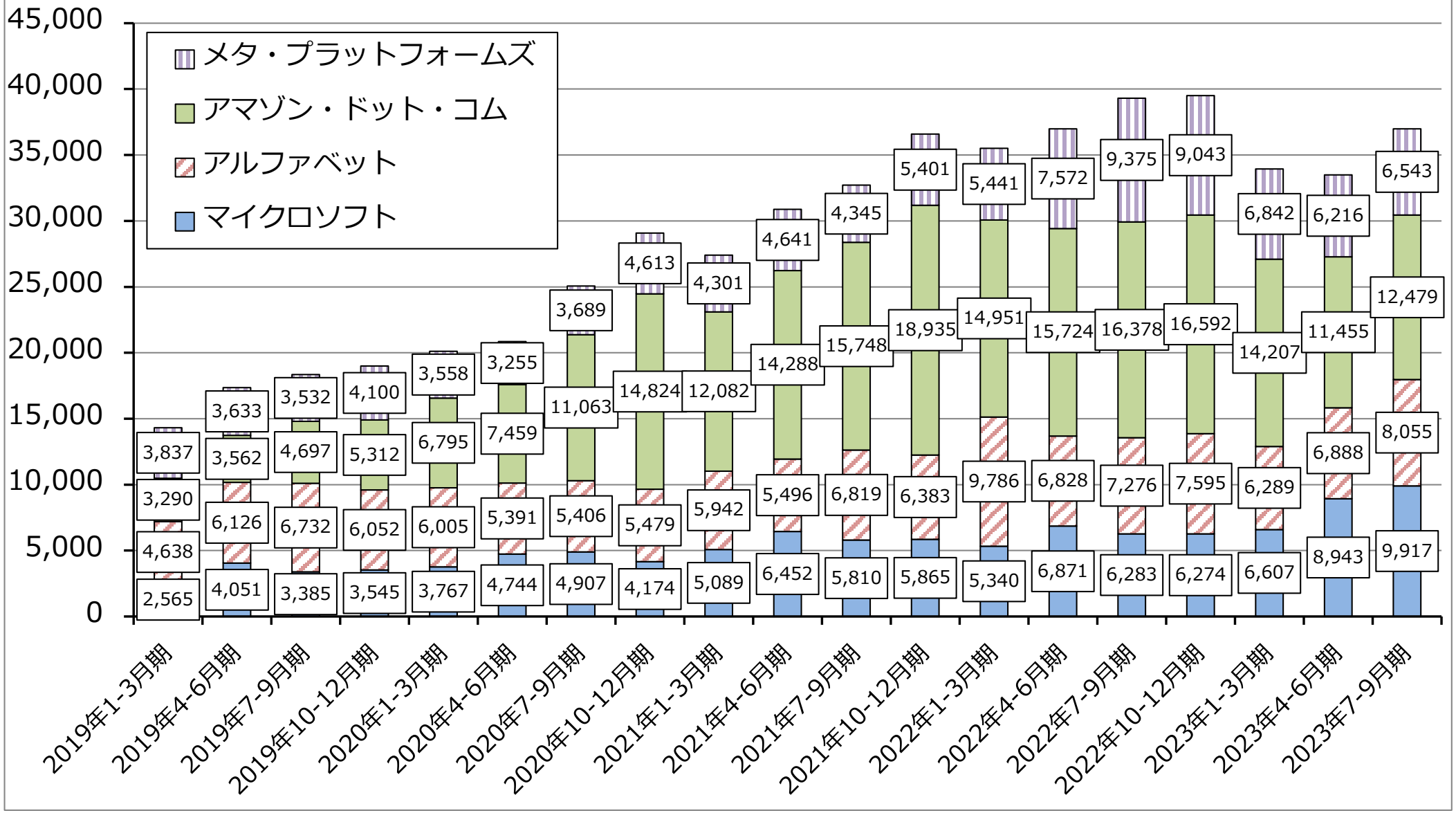
✓ダイが大きい半導体は生産しにくく、検査しにくい→ディスコ（切る、削るの工程が増加）、アドバンテスト（大きなダイの半導体はテストに時間がかかる）、レーザーテック（大きなダイの半導体はフォトマスクに欠陥があると損失が大きくなるため、最新型のフォトマスク欠陥検査装置「A150」を使う）、東京エレクトロン（2024年はロジック、メモリ（HBM＋DRAM（DDR5））両方の設備投資増加か）。

✓マイクロンによれば、「HBM3ｅ」のダイサイズ（チップをダイと呼ぶ）は同じ容量のDDR5の約2倍であり、ロジックインターフェース用ダイも含まれており、パッケージングも複雑。そのため、DDR5と同じ容量の「HBM3e」を生産するには、DDR5の2倍以上のウェハが必要になる。

✓HBMは特に製造工程が複雑。ディスコ（HBMのダイを薄く削って8枚+1枚積層する。クリーン度が高い前工程の中にこの工程があるため、ウェハを薄く削るためのグラインダが高い）。東京エレクトロン（HBMのダイを積層する際に仮接続するボンディング装置で過半数のシェアを持つ）。

アメリカの大手ＩＴ設備投資動向：四半期

（単位：100万ドル、出所：各社資料より楽天証券作成）



アメリカ：製造業の建設支出額

（単位：100万ドル、月次、季節調整前、出所：アメリカ商務省より楽天証券作成）

半導体製造装置の主要製品市場シェア（2022年）：1

前工程	
コータ/デベロッパ	①東京エレクトロン 89%、②セメス 5%、③キングセミ 3%、 ④SCREENホールディングス 3%
ドライエッチング装置（プラズマエッチングその他）	①ラムリサーチ 48%、②東京エレクトロン 25%、 ③アプライド・マテリアルズ 15%、④日立ハイテク 4%、⑤ナウラ 3%
ALD（原子層堆積）成膜装置	①ASMI 48%、②東京エレクトロン 19%、③ラムリサーチ 12%、④ジェソン 8%
CVD	①東京エレクトロン 43%、②KOKUSAI ELECTRIC 24%、③ラムリサーチ 20%、 ④アプライド・マテリアルズ 10%
プラズマCVD	①アプライド・マテリアルズ 51%、②ラムリサーチ 35%、③ウォニックIPS 5%、 ④テス 3%
PVD	①アプライド・マテリアルズ 85%、②アルバック 5%、③KLA 5%
酸化/拡散成膜装置	①東京エレクトロン 49%、②KOKUSAI ELECTRIC 34%、③ASMI 12%
CMP装置（2021年）	①アプライド・マテリアルズ 68%、②荏原製作所 26%
洗浄装置（枚葉式）	①SCREENホールディングス 35%、②東京エレクトロン 28%、 ③ラムリサーチ 17%、③セメス、⑤ACMリサーチ
洗浄装置（バッチ式）	①SCREENホールディングス 46%、②東京エレクトロン 34%、③PMC 12%、 ③ナウラ 5%
ウェハプローバ(ウェハの検査機器)	①東京精密 44%、②東京エレクトロン 37%、③セミックス 11%、④セメス 5%

出所：会社資料、報道、ヒアリングより楽天証券作成。一部楽天証券推定。

半導体製造装置の主要製品市場シェア（2022年）：2

前工程：続き	
露光装置：EUV	①ASML 100%
同：ArF液浸	①ASML 95%、②ニコン 5%
同：KrF	①ASML 72%、②キヤノン 24%、③ニコン 3%
同：ｉ線	①キヤノン 66%、②ASML 24%、③ニコン 10%
フォトマスク欠陥検査装置	①レーザーテック 60%（EUV用でEUV光を使ったものは100%）、②KLA 40%
シリコンウェハ欠陥検査装置（量産用）	①KLA 100%（先端半導体向け）
後工程	
メモリ・テスタ	①アドバンテスト 53%、②テラダイン35～40%
SoCテスタ	①アドバンテスト 58%、②テラダイン30～35%
ダイサ（ウェハをチップに切り出す）	①ディスコ 80%、②東京精密、ADT
ボンダー（ICチップとリードフレームを接着する）	キューリック・アンド・ソファ、新川（ヤマハ発動機傘下）、芝浦メカトロニクスなど

出所：会社資料、報道、ヒアリングより楽天証券作成。一部楽天証券推定。

レーザーテックの業績

	2022年6月期	2023年6月期	**2024年6月期 会社予想（今回）**	**2024年6月期 楽天証券予想（今回）**	**2025年6月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	90,378	152,832	**190,000**	**200,000**	**260,000**
前年比	28.7%	69.1%	**24.3%**	**30.9%**	**30.0%**
営業利益	32,492	62,287	**64,000**	**72,000**	**105,000**
営業利益率	36.0%	40.8%	**33.7%**	**36.0%**	**40.4%**
前年比	24.6%	91.7%	**2.8%**	**15.6%**	**45.8%**
経常利益	33,582	63,668	**64,000**	**72,000**	**105,000**
前年比	27.0%	89.6%	**0.5%**	**13.1%**	**45.8%**
当期純利益	24,850	46,164	**47,000**	**52,800**	**77,000**
前年比	29.1%	85.8%	**1.8%**	**14.4%**	**45.8%**
EPS	275.5	511.9	**521.2**	**585.5**	**853.8**
配当	97.0	180.0	**183.0**	**205.0**	**299.0**
PER（倍）	134.0	72.1	**70.9**	**63.1**	**43.3**

株価　36,930 円(2024/1/18)

発行済み株数　90,184 千株

時価総額　3,330,495 百万円(2024/1/18)

単位：百万円、円

出所：会社資料より楽天証券作成

注１：当期純利益は親会社の所有者に帰属する当期純利益。

注２：発行済み株数は自己株式を除いたもの。

東京エレクトロンの業績

	2022年3月期	2023年3月期	**2024年3月期 会社予想（今回）**	**2024年3月期 楽天証券予想（今回）**	**2025年3月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	2,003,805	2,209,025	**1,730,000**	**1,790,000**	**2,240,000**
前年比	43.2%	10.2%	**-21.7%**	**-19.0%**	**25.1%**
営業利益	599,271	617,723	**401,000**	**430,000**	**620,000**
営業利益率	29.9%	28.0%	**23.2%**	**24.0%**	**27.7%**
前年比	86.9%	3.1%	**-35.1%**	**-30.4%**	**44.2%**
経常利益	601,724	625,185	**404,000**	**432,000**	**620,000**
前年比	86.8%	3.9%	**-35.4%**	**-30.9%**	**43.5%**
当期純利益	437,076	471,584	**307,000**	**328,000**	**471,000**
前年比	79.9%	7.9%	**-34.9%**	**-30.4%**	**43.6%**
EPS	944.4	1,018.9	**663.3**	**708.7**	**1,017.7**
配当	1,403.0	467.7	**340.0**	**350.0**	**510.0**
PER（倍）	28.2	26.1	**40.1**	**37.6**	**26.2**

株価 26,625 円(2024/1/18)

発行済み株数 462,824 千株

時価総額 12,322,689 百万円(2024/1/18)

単位：百万円、円

出所：会社資料より楽天証券作成

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：発行済み株数は自己株式を除いたもの。

アドバンテストの業績

	2022年3月期	2023年3月期	**2024年3月期 会社予想（今回）**	**2024年3月期 楽天証券予想（今回）**	**2025年3月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	416,901	560,191	**470,000**	**480,000**	**590,000**
前年比	33.3%	34.4%	**-16.1%**	**-14.3%**	**22.9%**
営業利益	114,734	167,687	**80,000**	**84,000**	**130,000**
営業利益率	27.5%	29.9%	**17.0%**	**17.5%**	**22.0%**
前年比	62.2%	46.2%	**-52.3%**	**-49.9%**	**54.8%**
税引前利益	116,343	171,270	**78,500**	**82,500**	**130,000**
前年比	67.1%	47.2%	**-54.2%**	**-51.8%**	**57.6%**
当期利益	87,301	130,400	**60,000**	**63,100**	**99,400**
前年比	25.1%	49.4%	**-54.0%**	**-51.6%**	**57.5%**
EPS	118.3	176.7	**81.3**	**85.5**	**134.7**
配当	30.00	33.75		**34.00**	**34.00**
PER（倍）	45.2	30.3	**65.8**	**62.6**	**39.7**

株価	5,351	円(2024/1/18)
発行済み株数	738,129	千株
時価総額	3,949,728	百万円(2024/1/18)

単位：百万円、円

出所：会社資料より楽天証券作成

注１：当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益。

注２：発行済み株数は自己株式を除いたもの。

注３：2023年10月1日付けで1対4の株式分割を行った。表中の配当額は分割にあわせて遡及修正している。

ディスコの業績

	2022年3月期	2023年3月期	**2024年3月期 楽天証券予想（今回）**	**2025年3月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	253,781	284,135	**287,000**	**360,000**
前年比	38.8%	12.0%	**1.0%**	**25.4%**
営業利益	91,513	110,413	**106,000**	**150,000**
営業利益率	36.1%	38.9%	**36.9%**	**41.7%**
前年比	72.3%	20.7%	**-4.0%**	**41.5%**
経常利益	92,449	112,338	**109,000**	**153,000**
前年比	72.4%	21.5%	**-3.0%**	**40.4%**
当期純利益	66,206	82,891	**72,000**	**112,100**
前年比	69.4%	25.2%	**-13.1%**	**55.7%**
EPS	611.1	765.2	**664.6**	**1,034.8**
配当	269.0	305.0	**260.0**	**400.0**
PER（倍）	64.4	51.4	**59.2**	**38.0**

株価 39,350 円(2024/1/18)

発行済み株数 108,332 千株

時価総額 4,262,864 百万円(2024/1/18)

単位：百万円、円

出所：会社資料より楽天証券作成

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：発行済み株数は自己株式を除いたもの。

注３：2023年4月1日付けで１対３の株式分割を実施。これに対応して過去の配当額を遡及修正している。

ASMLホールディングの業績

	2021年12月期	2022年12月期	**2023年12月期 会社予想 （今回）**	**2023年12月期 楽天証券予想 （今回）**	**2024年12月期 楽天証券予想 （今回）**
売上高	18,611	21,173	**27,200**	**27,200**	**30,400**
前年比	33.1%	13.8%	**28.5%**	**28.5%**	**11.8%**
営業利益	6,750	6,501	**8,800**	**8,800**	**9,900**
営業利益率	36.3%	30.7%	**32.4%**	**32.4%**	**32.6%**
前年比	66.6%	-3.7%	**35.4%**	**35.4%**	**12.5%**
当期純利益	5,883	5,624		**7,440**	**8,390**
前年比	65.5%	-4.4%		**32.3%**	**12.8%**
EPS（ユーロ）	14.94	14.28		**18.90**	**21.31**
配当	5.50	5.80		**5.80**	**5.80**
PER	43.5	45.5		**34.4**	**30.5**
EPS（ドル）	16.03	15.37		**19.99**	**22.40**
PER（NASDAQ株価ベース）	44.4	46.3		**35.6**	**31.8**

株価（ｱﾑｽﾃﾙﾀﾞﾑ）	649.60	ユーロ（2024年1月17日）
株価（NASDAQ）	712.27	USドル（2024年1月17日）
時価総額	280,207	百万USドル（2024年1月17日）
発行済株数	393.7	百万株（完全希薄化後、Dilluted）
発行済株数	393.4	百万株（完全希薄化前、Basic）
１ユーロ	1.0894	USドル（2024年1月18日）

単位：百万ユーロ、ユーロ、米ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

注３：ASMLホールディングはアムステルダム、NASDAQに上場しているが、ここではNASDAQの株価でPERと時価総額を計算した。

注４：会社予想は予想レンジのレンジ平均値。

アプライド・マテリアルズの業績

	2021年10月期	2022年10月期	**2023年10月期**	**2024年10月期 楽天証券予想（今回）**	**2025年10月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	23,063	25,785	**26,517**	**28,300**	**32,400**
前年比	34.1%	11.8%	**2.8%**	**6.7%**	**14.5%**
営業利益	6,889	7,788	**7,654**	**8,600**	**10,400**
営業利益率	29.9%	30.2%	**28.9%**	**30.4%**	**32.1%**
前年比	57.8%	13.0%	**-1.7%**	**12.4%**	**20.9%**
当期純利益	5,888	6,525	**6,856**	**7,460**	**9,020**
前年比	62.7%	10.8%	**5.1%**	**8.8%**	**20.9%**
EPS	6.99	7.75	**8.14**	**8.86**	**10.71**
配当	0.94	1.02	**1.22**	**1.28**	**1.28**
PER	21.9	19.8	**18.8**	**17.3**	**14.3**

株価（NASDAQ） 153.37 ドル（2024年1月17日）

時価総額 128,217 百万ドル（2024年1月17日）

発行済株数 842 百万株(完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 836 百万株(完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

４．AIサーバー

- AI半導体をAIサーバーに装着して、AI運用、AI開発を行っているユーザー（企業、政府機関、各種研究所、AI関連の新興企業等）に届けるのがサーバーメーカーの役割。AI半導体とAIサーバーの需給逼迫の中で重要な分野になっている。
- 直近四半期のAIサーバーの取扱高は、1位スーパー・マイクロ・コンピューター（2023年7-9月期推定約11億ドル）、2位デル・テクノロジーズ（2023年8-10月期5億ドル以上）。
- スーパーマイクロ、デルともに最高性能のAIサーバーへの需要が強い。

サーバーの世界シェア（2022年）

順位	企業名	**出荷台数シェア**
1	デル・テクノロジーズ	19.4%
2	HPエンタープライズ	13.1%
3	レノボ	7.1%
4	ファーウェイ	6.5%
5	**スーパーマイクロ**	**4.9%**
6	インスパー	4.0%
7	富士通	3.3%
	その他	41.8%

順位	企業名	**売上高シェア**
1	デル・テクノロジーズ	19.3%
2	HPエンタープライズ	13.0%
3	**スーパーマイクロ**	**5.3%**
4	インスパー	4.5%
5	レノボ	4.4%
6	ファーウェイ	3.2%
7	IBM	3.2%
	その他	47.1%

出所：ITCandorより楽天証券作成

注：端数処理のため合計が合わない場合がある。

スーパー・マイクロ・コンピューターの業績

	2022年6月期	2023年6月期	**2024年6月期 会社予想（今回）**	**2024年6月期 楽天証券予想（今回）**	**2025年6月期 楽天証券予想（今回）**
売上高	5,196	7,123	**10,500**	**11,000**	**16,000**
前年比	46.1%	37.1%	**47.4%**	**54.4%**	**45.5%**
営業利益	335	761		**1,100**	**1,800**
営業利益率	6.4%	10.7%		**10.0%**	**11.3%**
前年比	170.2%	127.2%		**44.5%**	**63.6%**
当期純利益	285	640		**930**	**1,520**
前年比	154.5%	124.6%		**45.3%**	**63.4%**
EPS	4.98	11.19		**16.26**	**26.58**
配当	0.00	0.00		**0.00**	**0.00**
PER	63.9	28.4		**19.6**	**12.0**

株価（NASDAQ） 318.23 米ドル（2024年1月17日）

時価総額 16,896 百万ドル（2024年1月17日）

発行済株数 57.185 百万株（完全希薄化後、Diluted）

発行済株数 53.093 百万株（完全希薄化前、Basic）

単位：百万ドル、ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注１：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注２：EPSは完全希薄化後発行済み株式数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前発行済み株式数で計算。

注３：会社予想は予想レンジの平均値。

５．2024年ハイテクグロース株の投資リスク

- アメリカの金利
- アメリカの対中国半導体、半導体製造装置輸出規制
- アメリカの大統領選挙
- ハイテクグロース株に対する投資家、アナリストの見方が対立する場合が多くなる可能性がある。

6．まとめと注目銘柄

●マイクロソフト（MSFT、NASDAQ）
アマゾン・ドット・コム（AMZN、NASDAQ）
メタ・プラットフォームズ（META、NASDAQ）
アルファベット（GOOGL、GOOG、NASDAQ）
アップル（AAPL、NASDAQ）

●エヌビディア（NVDA、NASDAQ）
AMD（AMD、NASDAQ）
インテル（INTC、NASDAQ）
TSMC（TSM、台湾、NYSE ADR）
マイクロン・テクノロジー（MU、NASDAQ）

●レーザーテック（6920、東証プライム）
東京エレクトロン（8035、東証プライム）
アドバンテスト（6857、東証プライム）
ディスコ（6146、東証プライム）
ASMLホールディング（ASML、アムステルダム、NASDAQ）
アプライド・マテリアルズ（AMAT、NASDAQ）

●スーパー・マイクロ・コンピューター（SMCI、NASDAQ）

2023年10-12月期、2023年11月-2024年1月期決算発表スケジュール

日付	企業名	決算期（特に注釈がない場合は2023年10-12月期）
2023年12月20日（水）	**マイクロン・テクノロジー**	2024年8月期1Q（2023年9-11月期）
2024年1月18日（木）	**TSMC**	2023年12月期4Q
2024年1月23日（火）	ネットフリックス	2023年12月期4Q
	テキサス・インスツルメンツ	2023年12月期4Q
2024年1月24日（水）	**ASMLホールディング**	2023年12月期4Q
	ラム・リサーチ	2024年6月期2Q
	ディスコ	2024年3月期3Q
	IBM	2023年12月期4Q
	サービスナウ	2023年12月期4Q
	テスラ	2023年12月期4Q
2024年1月25日（木）	**インテル**	2023年12月期4Q
	KLAコーポレーション	2024年6月期2Q
2024年1月26日（金）	信越化学工業	2024年3月期3Q

出所：各種資料より楽天証券作成

注：表中の予定は予告なく変更されることがある。

2023年10-12月期、2023年11月-2024年1月期決算発表スケジュール

日付	企業名	決算期（特に注釈がない場合は2023年10-12月期）
2024年1月30日（火）	**AMD**	2023年12月期4Q
	ソシオネクスト	2024年3月期3Q
	テラダイン	2023年12月期4Q
	マイクロソフト	2024年6月期2Q
	アルファベット	2023年12月期4Q
	エレクトロニック・アーツ	2024年3月期3Q
2024年1月31日（水）	クアルコム	2024年9月期1Q
	アドバンテスト	2024年3月期3Q
	レーザーテック	2024年6月期2Q
	SCREENホールディングス	2024年3月期3Q
2024年2月1日（木）	HOYA	2024年3月期3Q
	アップル	2024年9月期1Q
	アマゾン・ドット・コム	2023年12月期4Q
	メタ・プラットフォームズ	2023年12月期4Q

出所：各種資料より楽天証券作成

注：表中の予定は予告なく変更されることがある。

2023年10-12月期、2023年11月-2024年1月期決算発表スケジュール

日付	企業名	決算期（特に注釈がない場合は2023年10-12月期）
2024年2月5日（月）	東京精密	2024年3月期3Q
	オン・セミコンダクター	2023年12月期4Q
	NXPセミコンダクターズ	2023年12月期4Q
2024年2月6日（火）	任天堂	2024年3月期3Q
	スポティファイ・テクノロジー	2023年12月期4Q
2024年2月7日（水）	ウォルト・ディズニー	2024年9月期1Q
2024年2月8日（木）	**ルネサス エレクトロニクス**	2023年12月期4Q
2024年2月9日（金）	**東京エレクトロン**	2024年3月期3Q
	KOKUSAI ELECTRIC	2024年3月期3Q
	テイクツー・インタラクティブ・ソフトウェア	2024年3月期3Q
2024年2月12日（月）	ケイデンス・デザイン・システムズ	2023年12月期4Q
2024年2月13日（火）	グローバルファウンドリーズ	2023年12月期4Q
2024年2月14日（水）	アナログ・デバイセズ	2024年10月期1Q（2023年11月-2024年1月期）
	シノプシス	2024年10月期1Q（2023年11月-2024年1月期）
	SUMCO	2023年12月期4Q
	ソニーグループ	2024年3月期3Q
2024年2月15日（木）	**アプライド・マテリアルズ**	2024年10月期1Q（2023年11月-2024年1月期）
2024年2月21日（水）	**エヌビディア**	2024年1月期4Q（2023年11月-2024年1月期）
	ショッピファイ	2023年12月期4Q
2024年2月22日（木）	オートデスク	2024年1月期4Q（2023年11月-2024年1月期）
	ライブ・ネーション・エンターテインメント	2023年12月期4Q
2024年2月27日（火）	デル・テクノロジーズ	2024年1月期4Q（2023年11月-2024年1月期）

出所：各種資料より楽天証券作成

注：表中の予定は予告なく変更されることがある。

ご清聴ありがとうございました。

Rakuten 楽天証券